

平成 31 年 度

地方創生の取組概要

説 明 資 料

豊岡市 政策調整部 政策調整課



地 方 創 生 の 取 組 概 要 （ 目 次 ）

I 平成31年度 地方創生の戦略体系	6
II 平成31年度 地方創生事業の手段別予算概要	8
III 平成31年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要	14

【戦略目的A】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
A01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている(情報発信)	
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	
No.1	メディア・旅行エージェント招聘【継続】	16
01-02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている	
No.2	移住定住促進プロモーション戦略【継続】 (WEB広告、ポスター制作、ミュージシャン・イン・レジデンス)	17
No.3	Uターン就職情報発信【継続】 (ジョブナビ豊岡、就活応援ブック)	18
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	
No.4	豊岡エキシビション【継続】	20
No.5	アーティスト・イン・レジデンス【継続】	21
No.6	ディレクター等の配置(KIAC)【継続】	22
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
No.7	Uターン促進(企業研究会)【継続】	24
No.8	Uターン推進(合同企業説明会、市内相談会)【継続】	25
01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている	
No.9	移住定住促進【継続】 (ワinstop窓口、現地案内人)	27
No.10	豊岡移住相談会【継続】 (移住フェア出展)	28
No.11	飛んでるローカル豊岡編集部支援【継続】	29
No.12	豊岡市移住促進支援補助金【継続】	30
No.13	まちのサードプレイス【新規】	31
A02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる(高付加価値・成熟化・多様性)	
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	
No.14	革製鞆・革小物生産能力育成【継続】	33
No.15	豊岡鞆ブランド育成支援【拡大】	34
No.16	環境経済事業(販路拡大)【継続】	35

		No.17 IT企業立地支援 【継続】	36
		No.18 企業立地事業者工場等賃借料補助金 【継続】	37
		No.19 企業立地促進条例による奨励金 【継続】	38
		No.20 コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進 【継続】	39
		No.21 コウノトリ育むお米ブランド化推進 【継続】	40
		No.22 スマート農業推進 【拡大】	41
	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
		No.23 新規就農総合支援 【継続】	44
		No.24 豊岡農業スクール 【継続】	45
		No.25 鞆縫製者トレーニング【継続】	46
		No.26 創業支援事業 【継続】	47
		No.27 子育て中の女性の就労促進 【継続】	48
		No.28 内発型産業育成Ⅰ（チャレンジ応援のしくみ新設）【新規】	49
		No.29 内発型産業育成Ⅱ（ステップアップ・創業補助）【新規】	50
		No.30 豊岡市政策アドバイザー設置 【拡大】	51
	02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている	
		— —	53
	02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている	
		No.31 ジェンダーギャップ解消推進【新規】	54
		No.32 ワークイノベーション推進【拡大】	55
		No.33 保育士等確保推進【継続】	56
		重複 (No.27) 子育て中の女性の就労促進	
	02-05	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	
		No.34 コウノトリ野生復帰推進 【拡大】	58
		重複 (No.55) 子どもの野生復帰	
	02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	
		No.35 文化芸術創造交流 【継続】 (Toyooka Art Season2019)	61
		No.36 文化芸術創造交流 【継続】 (市民参加の演劇、演劇ワークショップ)	63
		No.37 芸術文化情報発信 【継続】	64

		No.38 永楽館歌舞伎 【継続】	65
		No.39 芸術文化参与の設置 【継続】	66
		重複 (No.6) ディレクター等の配置(KIAC)	
	02-07	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	
		No.40 城崎国際アートセンター自主事業 【継続】	67
A03		No.41 文化と教育の先端自治体の連携 【継続】	68
	A03	豊岡で人々が世界と出会っている(ローカル&グローバル)	
	03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
		No.42 外国人観光客プロモーション 【継続】 (旅行博出展、海外情報発信拠点設置等)	70
		No.43 観光地マーケティング 【継続】 (観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	72
		No.44 外国人観光客受入体制整備 【継続】	73
		No.45 夢但馬周遊バス運営 【継続】	74
		No.46 (仮称)豊岡国際演劇祭協同開催 【新規】	75
		No.47 但馬空港利用促進 【継続】	76
		No.48 城崎温泉街交通環境改善 【継続】	77
		No.49 円山川沿線サイクリングロード整備 【継続】	78
	03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	
		No.50 コウノトリ育むお米海外販売推進 【継続】	79
		重複 (No.5) アーティスト・イン・レジデンス	
	03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	
		No.51 専門職大学の誘致 【継続】	81
		No.52 アーティスト・クリエイター移住等促進 【拡大】	82
	03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	
		重複 (No.43) 観光地マーケティング (観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	84
A04	A04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている(次世代育成)	
	04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	
		No.53 おっとりっしゃ！とよおかのものづくり 【継続】	85
		No.54 ふるさと教育推進 【継続】	86
		No.55 子どもの野生復帰 【継続】	87
		No.56 高校生Uターン意識向上戦略 【継続】	88

	04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	
		重複 (No.54) ふるさと教育推進	90
	04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	
		No.57 コミュニケーション教育推進 【継続】	91
		No.58 英語教育推進 【継続】	92
		No.59 英語遊び保育推進 【継続】	93
		No.60 豊岡の未来を創る高校生支援 【継続】	94
	04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている	
		No.61 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催 【継続】	96
【戦略目的B】 多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている			
B01 若い夫婦の数が増えている			
	01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	
		No.1 婚活応援プロジェクト「はーとピー」 【拡大】	100
		No.2 民間団体への婚活・恋活イベント開催補助 【継続】	101
		No.3 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充 【継続】	102
		No.4 出会いサポート企業推進 【継続】	103
	01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
		No.5 ボランティア仲人養成 【継続】	105
		重複 (No.3) 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	
	01-03	若者が集い、交流する場が増えている	
		No.6 SNSを活用した出会いにつながる情報発信 【継続】	107
B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている			
	02-01	出産への応援がある	
		No.7 子育て世代包括支援センター 【継続】	109
		No.8 産前・産後サポート事業 【継続】	110
		No.9 産後ケア事業(宿泊型、訪問型) 【継続】	111
		No.10 特定不妊治療費助成・不育症治療費助成 【継続】	112
	02-02	育児への応援がある	
		No.11 ファミリーサポートセンター 【継続】	113
		重複 (No.7) 子育て世代包括支援センター	

	02-03	仕事の両立への応援がある	
		重複 (No.11) ファミリーサポートセンター	115
	02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある	
		No.12 子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか 【継続】	116
	02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	
		No.13 子育て広場整備 【継続】	117
		No.14 FMジャングル夢チャレンジ 【継続】	118
		No.15 子育てママの活躍機会促進 【拡大】	119

I 平成31年度 地方創生の戦略体系

上位目的		豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的A		暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている（社会増）
主要手段－具体的手段		H31事業（*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載）
手段A 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）	
01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	メディア・旅行エージェント招聘
01-02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている	移住定住促進プロモーション戦略（WEB広告、ポスター制作、ミュージシャン・イン・レジデンス）、Uターン就職情報発信（ジョブナビ豊岡、就活応援ブック）
01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる	豊岡エキシビション、アーティスト・イン・レジデンス、ディレクター等の配置（KIAC）
01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン促進（企業研究会）、Uターン推進（合同企業説明会、市内相談会）
01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている	移住定住促進（ワンストップ窓口、現地案内人）、豊岡移住相談会（移住フェア出展）、飛んでるローカル豊岡編集部支援、豊岡市移住促進支援補助金、まちのサードプレイス
手段A 02	人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）	
02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	革製靴・革小物生産能力育成、豊岡靴ブランド育成支援、環境経済事業（販路拡大）、IT企業立地支援、企業立地事業者工場等賃借料補助金、企業立地促進条例による奨励金、コウトリ育む農法無農薬栽培の推進、コウトリ育むお米ブランド化推進、スマート農業推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	新規就農総合支援、豊岡農業スクール、靴縫製者トレーニング（※）、創業支援事業、子育て中の女性の就労促進、内発型産業育成Ⅰ（チャレンジ応援のしくみ新設）、内発型産業育成Ⅱ（ステップアップ・創業補助）、豊岡市政策アドバイザー設置
02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている	—
02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている	ジェンダーギャップ解消推進、ワークイノベーション推進、保育士等確保推進、子育て中の女性の就労促進〔重複〕
02-05	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	コウトリ野生復帰推進、子どもの野生復帰〔重複〕
02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	文化芸術創造交流（Toyooka Art Season2019）、文化芸術創造交流（市民参加の演劇・演劇ワークショップ）、芸術文化情報発信、永楽館歌舞伎、芸術文化参与の設置、ディレクター等の配置（KIAC）〔重複〕
02-07	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	城崎国際アートセンター自主事業、文化と教育の先端自治体の連携
手段A 03	豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）	
03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	外国人観光客プロモーション（旅行博出展、海外情報発信拠点設置等）、観光地マーケティング（観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか）、外国人観光客受入体制整備、夢但馬周遊バス運営、（仮称）豊岡国際演劇祭協同開催、但馬空港利用促進、城崎温泉街交通環境改善、円山川沿線サイクリングロード整備
03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウトリ育むお米海外販売推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	専門職大学の誘致、アーティスト・クリエイター移住等促進
03-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	観光地マーケティング（観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか）〔重複〕
手段A 04	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）	
04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	おっとりっしょ！とよおかのものづくり、ふるさと教育推進、子どもの野生復帰、高校生Uターン意識向上戦略
04-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	ふるさと教育推進〔重複〕
04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、英語遊び保育推進、豊岡の未来を創る高校生支援
04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催

（※）は、市の予算を伴わないもの

I 平成31年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的B	多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている（自然増）	
	主要手段－具体的手段	H31事業（*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載）
手段B 01	若い夫婦の数が増えている	
01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	婚活応援プロジェクト「はーとピー」、民間団体への婚活・恋活イベント開催補助、社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充、出会いサポート企業推進
01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成、社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充〔重複〕
01-03	若者が集い、交流する場が増えている	SNSを活用した出会いにつながる情報発信
手段B 02	夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	
02-01	出産への応援がある	子育て世代包括支援センター、産前・産後サポート事業、産後ケア事業（宿泊型、訪問型）、特定不妊治療費助成・不育症治療費助成
02-02	育児への応援がある	ファミリーサポートセンター、子育て世代包括支援センター〔重複〕
02-03	仕事の両立への応援がある	ファミリーサポートセンター〔重複〕
02-04	パートナーの応援（理解と協働）がある	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか
02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	子育て広場整備、FMジャングル夢チャレンジ、子育てママの活躍機会促進

Ⅱ 平成31年度 地方創生事業の手段別予算概要

【戦略目的A】

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
【A-01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている(情報発信)	01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている
	02	WEBやSNS等で豊岡の情報が共有されている
	03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる
	04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている
01手段小計(13事業) ※重複は除く		
【A-02】 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる(高付加価値・成熟化・多様性)	01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている
	02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03	人とつながり、支え合う喜びを感じる人が増えている
	04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている
	05	自然とのつながりを楽しむ人が増えている

(単位:千円)

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	メディア・旅行エージェント招聘(※)	3,038	大交流課
2	移住定住促進プロモーション戦略 (WEB広告、ポスター制作、ミュージシャン・イン・レジデンス)	8,032	環境経済課
3	Uターン就職情報発信 (ジョブナビ豊岡、就活応援ブック)	3,851	環境経済課
4	豊岡エキシビション	4,000	大交流課
5	アーティスト・イン・レジデンス	13,281	大交流課
6	ディレクター等の配置(KIAC) ※館長等人件費含む	13,631	大交流課
7	Uターン促進(企業研究会)	2,455	環境経済課
8	Uターン推進(合同企業説明会、市内相談会)	4,214	環境経済課
9	移住定住促進 (ワンストップ窓口、現地案内人)	820	環境経済課
10	豊岡移住相談会 (合同移住フェア出展)	1,122	環境経済課
11	飛んでるローカル 豊岡編集部支援	6,078	環境経済課
12	豊岡市移住促進支援補助金	300	環境経済課
13	まちのサードプレイス	3,467	環境経済課
		64,289	
14	革製鞆・革小物生産能力育成(※)	13,045	環境経済課
15	豊岡鞆ブランド育成支援	3,000	環境経済課
16	環境経済事業(販路拡大)	2,000	環境経済課
17	IT企業立地支援	10,440	環境経済課
18	企業立地事業者工場等賃借料補助金	1,075	環境経済課
19	企業立地促進条例による奨励金	22,967	環境経済課
20	コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進	23,080	農林水産課
21	コウノトリ育むお米ブランド化推進	6,644	農林水産課
22	スマート農業推進	2,347	農林水産課
23	新規就農総合支援 (若手農家支援、次世代人材投資、就農イベント参加)	30,624	農林水産課
24	豊岡農業スクール(※)	12,940	農林水産課
25	鞆縫製者トレーニング(※)	—	環境経済課
26	創業支援事業	1,349	環境経済課
27	子育て中の女性の就労促進	3,495	環境経済課
28	内発型産業育成Ⅰ(チャレンジ応援のしくみ新設)	12,361	環境経済課
29	内発型産業育成Ⅱ(ステップアップ・創業補助)	35,972	環境経済課
30	政策アドバイザー設置(3名)	9,266	大交流課
—	—	—	—
31	ジェンダーギャップ解消推進	7,262	政策調整課
32	ワークイノベーション推進	10,270	Uターン戦略室
33	保育士等確保推進	8,428	こども育成課
重複	(No.27) 子育て中の女性の就労促進	—	—
34	コウノトリ野生復帰推進	13,112	コウノトリ共生課
重複	(No.55) 子どもの野生復帰	—	—

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
	06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている
	07	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている
02手段小計(28事業) ※重複は除く		
【A-03】 豊岡で人々が世界と出会っている(ローカル&グローバル)	01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
03手段小計(11事業) ※重複は除く		
【A-04】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている(次世代育成)	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる
	04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている
04手段小計(9事業) ※重複は除く		
H31戦略目的A(61事業)		
※参考 H30A戦略合計(62事業)		

事業No.	事業名	予算額	担当課
35	文化芸術創造交流(Toyooka Art Season2019)	12,632	文化振興課
36	文化芸術創造交流 (市民参加の演劇・演劇ワークショップ)	10,743	生涯学習課
37	芸術文化情報発信	619	大交流課
38	永楽館歌舞伎	77,868	出石振興局
39	芸術文化参与の設置	2,400	文化振興課
重複	(No.6) ディレクター等の配置(KIAC)	—	—
40	城崎国際アートセンター自主事業	6,909	大交流課
41	文化と教育の先端自治体の連携	1,500	大交流課
		342,348	
42	外国人観光客プロモーション (旅行博出展・海外情報発信拠点設置等)	37,358	大交流課
43	観光地マーケティング (観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	25,036	大交流課
44	外国人観光客受入体制整備事業	8,443	大交流課
45	夢但馬周遊バス運営(※)	2,075	大交流課
46	(仮称)国際演劇祭協同開催	16,101	大交流課
47	但馬空港利用促進	11,340	都市整備課
48	城崎温泉街交通環境改善	5,190	建設課
49	円山川沿線サイクリングロード整備	5,000	建設課
50	コウノトリ育むお米海外販売推進	7,240	農林水産課
重複	(No.5) アーティスト・イン・レジデンス	—	—
51	専門職大学の誘致	13,692	大交流課
52	アーティスト・クリエイター移住等促進	22,805	大交流課
重複	(No.43) 観光地マーケティング	—	—
		154,280	
53	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり(※)	400	環境経済課
54	ふるさと教育推進	3,868	こども教育課
55	子どもの野生復帰	10,000	生涯学習課
56	高校生Uターン意識向上戦略	1,465	環境経済課
重複	(No.53) ふるさと教育	—	—
57	コミュニケーション教育推進	1,142	こども教育課
58	英語教育推進	33,748	こども教育課
59	英語遊び保育推進 ※推進員等人件費含む	12,145	こども育成課
60	豊岡の未来を創る高校生支援	2,600	こども教育課
61	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(※)	7,207	生涯学習課
		72,575	
		633,492	
		(678,498)	

(※) は市以外の団体の主催事業

【戦略目的B】

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
【B-01】 若い夫婦の数が増えている	01	多種多様な出会いの機会が充実している
	02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
	03	若者が集い、交流する場が増えている
01手段小計(6事業) ※重複は除く		
【B-02】 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている	01	出産への応援がある
	02	育児への応援がある
	03	仕事の両立への応援がある
	04	パートナーの応援(理解と協働)がある
	05	まちを挙げた子育てへの応援がある
02手段小計(9事業) ※重複は除く		
H31戦略目的B(15事業) ※重複は除く		
※参考 H30戦略目的B(13事業)		
H31地方創生(76事業) 総計		
※参考 H30地方創生(75事業)		

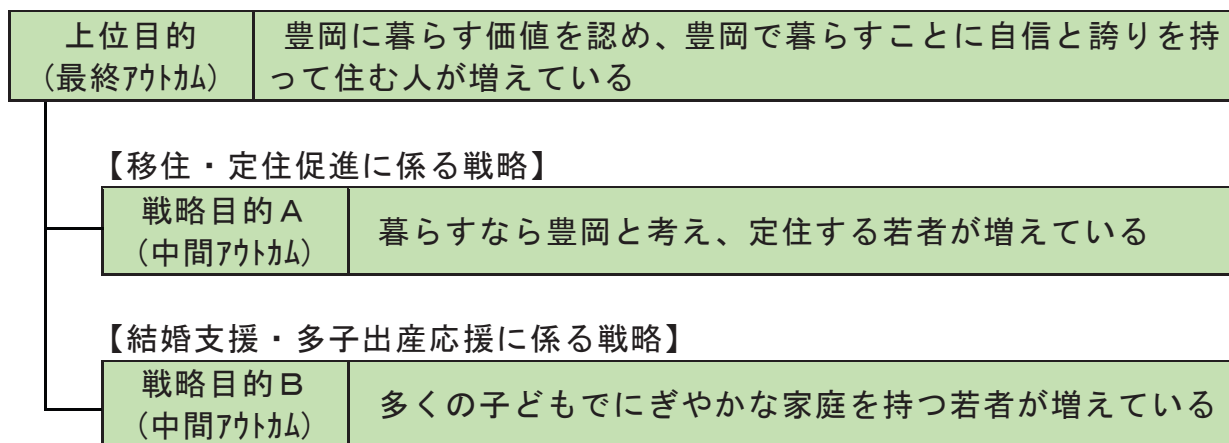
(単位:千円)

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	婚活応援プロジェクト「はーとピー」 ※専門員等人件費含む	9,266	ハートリーフ戦略室
2	民間団体への婚活・恋活イベント開催補助	600	ハートリーフ戦略室
3	社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	789	ハートリーフ戦略室
4	出会いサポート企業推進	-	ハートリーフ戦略室
5	ボランティア仲人養成	1,349	ハートリーフ戦略室
重複	(No.3) 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	-	-
6	SNSを活用した出会いにつながる情報発信	72	ハートリーフ戦略室
		12,076	
7	子育て世代包括支援センター	974	健康増進課
8	産前・産後サポート事業	1,932	健康増進課
9	産後ケア事業(宿泊型、訪問型)	2,668	健康増進課
10	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	16,200	健康増進課
11	ファミリーサポートセンター	1,410	こども育成課
重複	(No.7) 子育て世代包括支援センター	-	-
重複	(No.11) ファミリーサポートセンター	-	-
12	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか	13,350	こども育成課
13	子育て広場整備	279	ハートリーフ戦略室
14	FMジャングル夢チャレンジ	818	こども育成課
15	子育てママの活躍機会促進	535	ハートリーフ戦略室
		38,166	
		50,242	
		(59,405)	
		683,734	※対前年比 92.7%
		(737,903)	

(※)平成31年度予算では東京直行便実現(平成30年度当初予算額84,660千円)を地方創生戦略体系から除いています。

Ⅲ 平成 31 年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要

■ 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）



「上位目的」（※最終アウトカム：本戦略において長期的に実現したい状態）」を実現するために、戦略 A 「移住・定住促進に係る戦略」及び戦略 B 「結婚支援・多子出産応援に係る戦略」それぞれに戦略目的（※中間アウトカム：当面 5 年間程度で達成したい状態）を定め、二つの戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この二つの戦略目的に、それぞれ主要手段（2 桁）と、その主要手段を実現するための具体的手段（4 桁）を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

【2040 年の豊岡市の目標人口 ⇒ 62,165 人】

○ 政策目標

- 1 若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）
 - ・ 2015 年「35%」⇒ 2025 年までに「50%」に引き上げる
- 2 合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）
 - ・ 2015 年「1.82 人」⇒ 2035 年までに「2.3 人」に引き上げる

（参考：若者回復率 ～2010 年国勢調査時と 2015 年国勢調査時の比較～）

	2010 年国勢調査 (2005→2010 年)		2015 年国勢調査 (2010→2015 年)	
・ 全体	34.2%	→	39.5%	(+ 5.3 ポイント)
・ 男	34.7%	→	52.2%	(+17.5 ポイント)
・ 女	33.4%	→	26.7%	(△ 6.7 ポイント)

移住・定住促進に係る戦略

【戦略目的 A】

暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が
増えている

○ 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市」＝「豊岡で世界と出会う」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。

次ページ以降、「戦略目的 A」の戦略体系に基づく平成 31 年度地方創生取組みを掲載

具体的 手 段	A 01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている	31 年度 予算額	3,038 千円
------------	------------	-----------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
1	メディア・旅行エージェント招聘	3,038 千円	継続
合計		3,038 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-01	様々なメディア等で豊岡が取り上げられている		
No.1 事業名	メディア・旅行エージェント招聘	31 年度 予算額	3,038 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力がテレビ・雑誌・WEB サイト等のメディアに取り上げられること（外部視点による豊岡の魅力の高い評価）で、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェント等を招聘し、市の取組みや観光素材を取材してもらいメディア等への露出や観光商品造成につなげる。

1 事業内容

豊岡市の取組み・観光地への取材とメディア掲載を増やすため、招聘者の取材地までの経費負担（宿泊費・交通費実費相当額）、取材先調整、取材同行を実施する。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡ツーリズム協議会（大交流課内）

4 予算額（補助率・負担率等）

3,038 千円（地方創生推進交付金
補助率：交付対象額の 1/2）



豊岡の魅力を国内外に発信

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的 手 段	A 01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有 されている	31 年度 予算額	11,883 千円
------------	------------	-------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
2	移住定住促進プロモーション戦略 (WEB 広告、ポスター制作、ミュージシャン・インレジデンス)	8,032 千円	継続
3	U ターン就職情報発信 (ジョブナビ 豊岡、就活応援ブック)	3,851 千円	継続
合計		11,883 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている			
No.2	事業名	移住定住促進プロモーション 戦略 (WEB 広告、ポスター制作、ミュー ジシャン・イン・レジデンス)	31 年度 予算額	8,032 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住促進プロモーションを継続して行うことで、市外の方への認知・興味の拡大が図れている。また、市民と協働して豊岡の暮らしの魅力を発信することにより、市民も一緒に U I ターンを促進している意識が醸成されている。

《事業目的（趣旨）》

- 都市部に住む 20～40 代と市内高校生を含めた若年層をターゲットに、市民と協働して情報発信を行う。豊岡を巣立った若者や、大都市の若者の目を地方に向けるため、豊岡がおもしろく、可能性があるまちであることを広めていく。市のこれまでの取り組みも含め、豊岡の価値、魅力、姿勢等を PR していく。

1 事業内容

(1) わかもの巣立ち応援プロジェクト

就職や進学を機に、豊岡を離れる若者に対して、高校卒業時期に「卒業、おめでとう。飛んでいけ」という応援メッセージを送る。応援メッセージは、市民が出演するポスター等として制作し、市内各所に貼り出すなど、まちをあげて若者を応援している姿勢を示す。

(2) ミュージシャン・イン・レジデンス豊岡

ミュージシャンの滞在型創作活動である「ミュージシャン・イン・レジデンス豊岡」を実施し、音楽という文化を通じて、豊岡の文化、地域の魅力を市内外に発信する。

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

(3) WEB 広告

豊岡市移住定住促進ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」への流入を促すための広告を行う。

2 事業期間

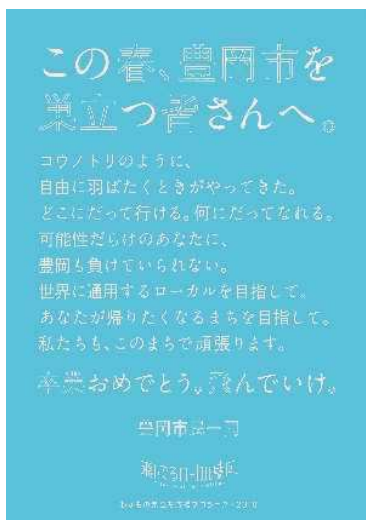
2016（平成 28）年度～2019（平成 31）年度

3 事業主体

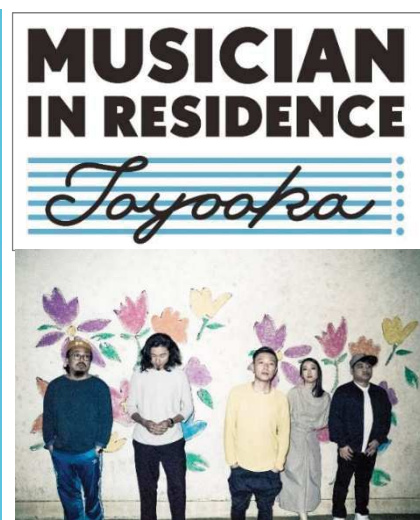
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

8,032 千円



H29 年度作成「卒業、おめでとう。飛んでいけ」ポスター



H30 年度滞在 bonobos

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-02	WEB や SNS 等で豊岡の情報が共有されている			
No.3 事業名	Uターン就職情報発信 (ジョブナビ豊岡・就活応援ブック)		31 年度 予算額	3,851 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡で働くことの魅力や、やりがいある仕事の情報が伝わり、Uターン就職する若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 就活イベントなどを通して対象者とのつながりを作り、豊岡で働く魅力や、やりがいある仕事、地元就職のメリット等の情報発信を「ジョブナビ豊岡」を中心として行い、Uターン就職へつなげる。

1 事業内容

(1) 求人企業情報サイト「ジョブナビ豊岡」の運営 【1,803 千円】

市内企業の求人情報や豊岡で働く魅力、地元就職のメリットなどを発信する。

- ア 保守管理・サイト分析等
- イ コンテンツ更新・作成
- ウ 「ジョブナビ豊岡」市内周知チラシ
- エ 新規ユーザー獲得のためのフェイスブックリスティング広告、SNS、
・SMS 広告

(2) 就活応援ブック 【2,048 千円】

企業情報、地元就職の良さなどを紹介する冊子を作成。市内高校を卒業した大学生等に配布する。

- ア 発行時期：11 月中旬
- イ 規格：A5 版 102P（本誌） / A5 版 16P（別冊）
- ウ 発行部数：各 3,000 部
- エ 掲載企業：「ジョブナビ豊岡」掲載企業全社（100 社想定）（H30：90 社）
- オ 掲載内容：
（本誌）企業情報（会社名、所在地、主要業務、給与実績、福利厚生 等）
（別冊）業界紹介・イベントスケジュール・ノウハウ
- カ 配布先：
①市内高校を卒業し3年目（大学生）と1年目（短大・専門学校）の学生の実家
②進学者の多い大学・専門学校 約300校 等

2 事業期間

ジョブナビ豊岡運営事業 2016（平成 28）年度～

就活応援ブック制作 2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,851 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

具体的 手 段	A 01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中に いる	31 年度 予算額	30,912 千円
------------	------------	-----------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
4	豊岡エキシビジョン	4,000 千円	継続
5	アーティスト・イン・レジデンス	13,281 千円	継続
6	ディレクターの配置（K I A C）	13,631 千円	継続
合計		30,912 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる		
No.4	事業名	豊岡エキシビジョン	31 年度 予算額	4,000 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡市のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン（以下、ファン）”が増え、“ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡市の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

- “ファン”との関係を深め、継続的に“ファン”とコミュニケーションをとる仕組みを構築するため、まずは「豊岡エキシビジョン」等で関係を構築した“ファン（メディア・企業・官公庁等）”の「共感ポイント」＝“ツボ”を明らかにする。
- テレビ・雑誌等の媒体やオーガニックリーチ（自らの言葉で周囲に伝える）を通じて“ファン”を増やすため、テレビ・雑誌等のメディア関係者・インフルエンサーとのコミュニケーションの取り方（情報の届け方）を検討する。

1 事業内容

(1) 事前アンケート

これまで豊岡エキシビジョン等で市と関わりのある方（ファン）に対して、アンケートを実施し「共感ポイント」＝ツボを明らかにする。

(2) ファンミーティング

これまで豊岡エキシビジョン等で市と関わりのある方（ファン）の内、熱量の

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

高いファンを対象に「ファン交流会（ファンミーティング）」を開催する。事前アンケート結果を参考に、人気の高いテーマ（複数）ごとに開催し、ファンと豊岡市、豊岡市へ共通した思いのあるファン同士が交流しながら、ツボ探し（深掘り）を実施する。

2 事業期間

2010（平成 22）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,000 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる			
No.5	事業名	アーティスト・イン・レジデンス	31 年度 予算額	13,281 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

- 選考によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡の観光大使となり、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

1 事業内容

- (1) 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考【1,338 千円】
- (2) 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」事業 P R【4,203 千円】
- (3) 舞台操作等レジデンス支援【7,740 千円】

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,281 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（参考）

アーティスト・イン・レジデンス実績

- 2016（平成 28）年度
 - ・ 応募数 40 団体（13 カ国）
 - ・ 選考結果 17 団体（7 カ国）
- 2017（平成 29）年度
 - ・ 応募数 43 団体（8 カ国）
 - ・ 選考結果 20 団体（5 カ国）
- 2018（平成 30）年度
 - ・ 応募数 94 団体（25 カ国）
 - ・ 選考結果 19 団体（7 カ国）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（電話 32-3888）

戦略・手段	A 01-03	豊岡の魅力を語る人々が世界中にいる			
No.6	事業名	ディレクター等の配置 (K I A C)	31 年度 予算額	13,631 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎国際アートセンターを芸術文化の国際的戦略拠点として位置付け、運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、引き続き専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の充実を図っていく。

1 事業内容

引き続き、次の専門職を配置する。

- (1) 館長兼広報・マーケティングディレクター（嘱託職員）
田口 幹也 氏
- (2) プログラムディレクター（業務委託）
吉田雄一郎 氏

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
13,631 千円

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（電話 32-3888）

具体的 手 段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつ ながっている	31 年度 予算額	6,669 千円
------------	------------	---------------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
7	Uターン促進 (企業研究会)	2,455 千円	継続
8	Uターン推進 (合同企業説明会、市内相談会)	4,214 千円	継続
合計		6,669 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No.7	事業名	Uターン促進（企業研究会）	31 年度 予算額	2,455 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- Uターン希望者が市内企業と出会い、豊岡で働く魅力や市内企業の魅力を感じて、豊岡へ戻ってくる。

《事業目的（趣旨）》

- 市内からの進学者が多い京阪神地域において、豊岡のまちの魅力や市内企業の魅力・情報を発信し、就職先としての意識を豊岡に向け、Uターンを促す。

1 事業内容

就職・企業に対する意識が高まる大学3年生を主として、学生と市内企業との接点を増やすため、企業研究会を大阪市内で開催。市内企業の魅力や豊岡でしかない仕事、豊岡で働く魅力などを発信する。

(1) 企業研究会

- ア 開催時期 2020（平成32）年2月中旬（予定）
- イ 開催場所 大阪市内（グランフロント大阪を予定）
- ウ 出展企業 35社（出展料20千円/社）
- エ 内容

(ア) 企業1分間PR

(イ) 先輩ブース・地元情報ブース

（就活終了した4回生から地元就活のアドバイスや、仕事以外の若者の暮らしや遊びなどの情報提供、および「TOYOOCOME!」応援事業の紹介）

(ウ) 履歴書用写真の撮影サービス

(エ) スタッフによるリクルーター制度

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

2 事業期間

2015（平成 27）年度
～2019（平成 31）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,455 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-04	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている			
No. 8	事業名	Uターン推進 （合同企業説明会、市内相談会等）	31 年度 予算額	4,214 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- Uターン希望者が市内企業と出会い、豊岡で働く魅力や市内企業の魅力を感じて、豊岡へ戻ってくる。

《事業目的（趣旨）》

- 市内からの進学者が多い京阪神地域において、豊岡のまちの魅力や市内企業の魅力・情報を発信し、就職先としての意識を豊岡に向け、Uターンを促す。

1 事業内容

進学者の多い京阪神で、市内企業の具体的な仕事内容や働く将来の姿を伝えることで採用につなげ、Uターン就職を促進する。また、市内においても多くのUターン対象者と接点を持つため、ゴールデンウィーク・お盆・お正月の帰省時期に合わせて、市内での相談会を開催する

(1) 兵庫県北部（たじま）合同企業説明会

ア 開催時期 2020（平成 32）年 3 月中旬（予定）

イ 開催場所 大阪市内（グランフロント大阪を予定）

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

ウ 出展企業 40 社（出展料 20 千円/社） ※但馬全体で 70 社の予定
エ 内容 ブース形式による求職者情報の提供、Uターン就職に関するセミナー

- (2) キャリアセンター訪問 23 校予定
大学内Uターン相談会への出展や合同企業説明会などの告知を依頼する。
- (3) 大学内U I ターン相談会出展 18 校予定
Uターン希望学生に対し、市内の就職イベント情報、仕事情報等の提供を行う。
- (4) 市内相談会 3 回開催
帰省時期にあわせた相談会の開催



2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,214 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

具体的 手 段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、 情報が提供されている	31 年度 予算額	11,787 千円
------------	------------	-------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
9	移住定住促進 （ワンストップ 窓口・現地案内人）	820 千円	継続
10	豊岡移住相談会	1,122 千円	継続
11	飛んでるローカル豊岡編集部支援	6,078 千円	継続
12	豊岡市移住促進支援補助金	300 千円	継続
13	まちのサードプレイス	3,467 千円	新規
合計		11,787 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
No. 9	事業名	移住定住促進 （ワンストップ窓口・現地案内人）	31 年度 予算額	820 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する人に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結びついている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市への移住定住を検討する人たちが、求める情報を容易、的確に手に入れられ、窓口での相談や案内等の対応により移住定住に導く。

1 事業内容

(1) ワンストップ窓口

移住定住希望者への情報提供や地域、住まい、仕事等のコーディネートやマッチングを一括して実施する総合窓口を開設。

(2) 現地案内人制度

移住定住希望者への現地案内、地域紹介等を行う現地案内人に対する支援。

2 事業期間

2016（平成 28）年度～2019（平成 31）年度

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

820 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
No.10 事業名	豊岡移住相談会	31 年度 予算額	1,122 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡を移住先として選び、相談に来る人が増え、効率的に情報を提供することができている。

《事業目的（趣旨）》

- 移住を希望する人たちに豊岡の情報を提供し、移住先としての価値を伝え、移住を促す。また、移住希望者とのつながりを創出し、豊岡への来訪を促す。

1 事業内容

合同移住フェアに出展する。先輩移住者や市民ライターの参加も予定している。

- (1) ふるさと回帰フェア（大阪：ふるさと回帰支援センター）
- (2) ふるさと回帰フェア（東京：ふるさと回帰支援センター）
- (3) ひょうご北部移住&しごとフェア（大阪：たじま田舎暮らし情報センター）
- (4) JOIN 移住フェア（東京：一般財団法人地域活性化センター（JOIN））
- (5) 但馬地域独自セミナー（大阪：兵庫県但馬県民局）

2 事業期間

2017（平成 29）年度～2021（平成 33）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,122 千円

【移住フェアの様子】



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている			
No.11 事業名	飛んでるローカル豊岡編集部支援	31 年度 予算額	6,078 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡での暮らしの価値や魅力を市民目線で伝える市民ライターが増え、移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」のメインコンテンツである記事の中で、豊岡の暮らしや教育、仕事等のリアルな情報が継続的に発信され、移住検討者の重要な情報源となっている。また、市民ライターによる移住検討者等を支援する場が創出され、市民自らが移住を促している。

《事業目的（趣旨）》

- 市民ライターによる、豊岡の暮らしや教育、仕事等の情報発信を行い、移住検討者の興味関心を引くとともに、豊岡への移住行動を促していく。また、市民ライターと移住検討者等とのつながりをつくるような交流会を開催し、移住を促していく。

1 事業内容

- (1) ポータルサイトの運用・保守を行う。
- (2) 飛んでるローカル豊岡編集部運営、サイト改修提案、冊子作成業務を委託する。
 - ア 編集部運営管理（企画調整、記事校正、編集、市民ライター育成等）
 - イ WEB 記事作成（取材、記事作成、記事管理サイト運用等）
 - ウ SNS 運用（Facebook、Instagram 等）

主要手段 A01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている（情報発信）

- エ 移住者支援（交流会開催等）
- オ WEB 改善提案（アクセス解析、サイトコンテンツ改修提案）
- カ 移住促進冊子制作業務（取材、撮影、編集等）

2 事業期間

2016（平成 28）年度
～2019（平成 31）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,078 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
No.12 事業名	豊岡市移住促進支援補助金	31 年度 予算額	300 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する人に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結びついている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市への移住を検討する人たちが、実際に訪れ、知ることで、移住への不安解消や移住後の暮らしのイメージを膨らませることにより、移住意欲を向上させ、移住を促進する。

1 事業内容

本市への移住を目的とし、住居や仕事を探す活動又は市の文化や歴史、風土、気候等を知るための活動を行うために本市を訪れる人が、市内に所在する宿泊施設を利用する際の宿泊費用の一部を補助する。

【補助率等】

宿泊費用のうち、13歳以上の方は1人3,000円、12歳以下の方は1人1,500円を上限とする宿泊費用の一部。補助金の交付は、1人につき一年度当り4泊を限度とする。

2 事業期間

2018（平成30）年度～2020（平成32）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

補助金 300 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 01-05	定住を検討する人に寄り添って、情報が提供されている		
No.13	事業名	まちのサードプレイス	31年度 予算額	3,467 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する人に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結びついている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市への移住定住を検討する人たちが、求める情報を容易に手に入れられるとともに、市民やまちとつながり、定住に導く。

1 事業内容

中心市街地で、移住希望者や移住者、若者等がまちの人たちとつながる場所を市と市民が協働して構築するため、委託事業者を公募する。

(1) 委託業務の内容

ア まちのサードプレイスの機能創出

新たなコミュニティの創出や創造的な交流の拠点として機能するサードプレイスとなるような場を創出し、移住者とまちの人たちの出合いを促していく。

イ 移住相談窓口の設置

UIターン者の移住前後の暮らしの不安に対する相談や、まちのコンシェルジュとしての案内などを行う相談窓口を設置する。

(2) スケジュール（予定）

2019（平成 31）年 6 月 公募 ～ 事業者決定

2019（平成 31）年 9 月 運営開始

2 事業期間

2019（平成 31）年度～2023（平成 35）年度

3 事業主体

豊岡市



サードプレイスのイメージ

4 予算額（補助率・負担率等）

3,467 千円

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

＜サードプレイスとは＞

「ファースト・プレイス」は自宅など生活を営む場所、「セカンド・プレイス」は最も長く時間を過ごすであろう職場、「サード・プレイス」はコミュニティライフの“アンカー”ともなるべき場所で、下記の項目を満たす、より創造的な交流が生まれる場所と述べられている。

- ・食事や飲料が提供されている。
- ・アクセスがしやすい、歩いていける。
- ・古い友人も新しい友人も見つかるようなところ。
- ・フレンドリーで心地良い。

レイ・オルデンバーグ (Ray Oldenburg) 『The Great Good Place』（1989 年）より

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

具体的 手 段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている	31 年度 予算額	84,598 千円
------------	------------	--------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
14	革製靴・革小物生産能力育成	13,045 千円	継続
15	豊岡靴ブランド育成支援	3,000 千円	拡大
16	環境経済事業（販路拡大）	2,000 千円	継続
17	IT 企業立地支援	10,440 千円	継続
18	企業立地事業者工場等賃借料補助金	1,075 千円	継続
19	企業立地促進条例による奨励金	22,967 千円	継続
20	コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進	23,080 千円	継続
21	コウノトリ育むお米ブランド化推進	6,644 千円	継続
22	スマート農業推進	2,347 千円	拡大
合計		84,598 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている			
No.14	事業名	革製靴・革小物生産能力育成	31 年度 予算額	13,045 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 靴産業を強化し、収益力を向上させることで、やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 革製靴・革小物の生産能力を習得する人材育成事業を行うことで、市内靴製造業者が新しい技術を活かした新事業に取り組み、新規の雇用を生み出す機会を創出する。

1 事業内容

専門技術を持つ講師による技術講習を実施し、革製鞆・財布等革小物を生産できる人材を育成する。

2 事業期間

2015（平成 27）年度
～2019（平成 31）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,045 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.15	事業名 豊岡鞆ブランド育成支援	31 年度 予算額	3,000 千円	拡大

《目指す将来像（姿）》

- 鞆産業を強化し、収益力を向上させることで、やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡鞆」のブランド価値向上のための取り組みを支援する。特に 2020 年に開催される東京オリンピックの開催を見据え、首都圏における「豊岡鞆」のブランディングを進め、国内のみならず海外に向けても情報発信力を強化する。

1 事業内容

兵庫県鞆工業組合が「豊岡鞆」ブランドの価値向上のために実施する事業に対して補助を行う。

- (1) 2018（平成 30）年度に開店した豊岡鞆の旗艦店である「KITTE 丸の内店」について、首都圏における豊岡鞆ブランドの情報発信機能を強化するため、ブランディングの専門家による分析・提案により訴求力の高い店舗づくりを行う。【拡大】
- (2) 「豊岡鞆」東京展示会の開催（KITTE 丸の内店地下 1 階）、有名百貨店等での「豊岡鞆」フェアの実施

2 事業期間

2016（平成 18）年度～2019（平成 31）年度

3 事業主体

兵庫県鞆工業組合、豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,000 千円

（ひょうご地域創生交付金

補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.16 事業名	環境経済事業（販路拡大）	31 年度 予算額	2,000 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 環境経済事業（※）の売上げが増加することで、やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている。

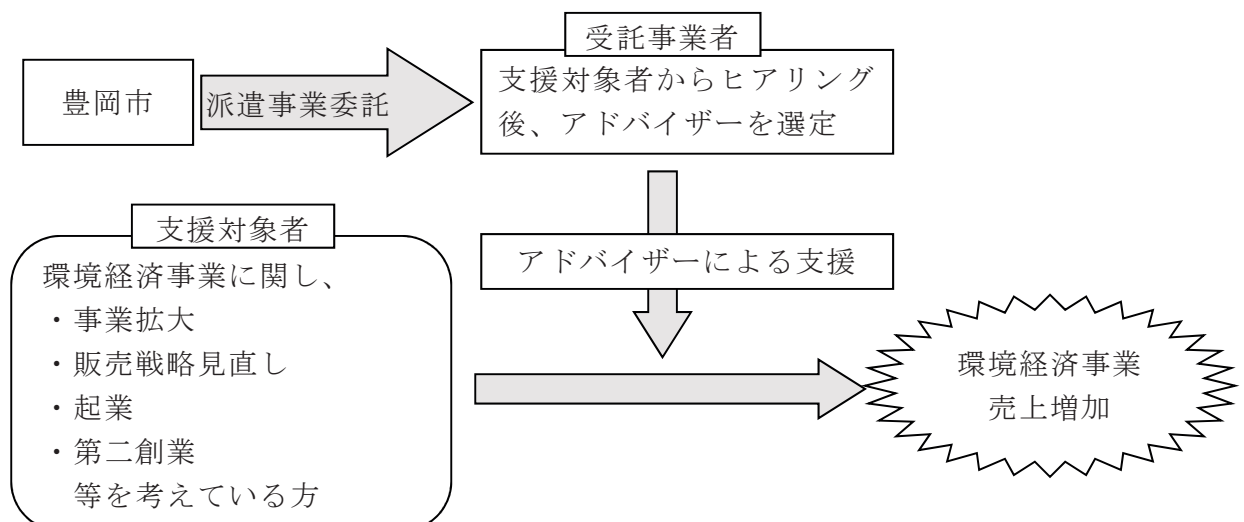
（※）環境を良くする事業活動で利益を生むもの

《事業目的（趣旨）》

- 環境と経済の共鳴を広げるため、環境経済事業の創出を促すとともに、販路拡大を支援することにより、環境経済事業の売上げ増加を図る。

1 事業内容

アドバイザーを招聘し、スタートアップ・経営・販路拡大などの支援を行う。



2 事業期間

2015（平成 27）年度～2019（平成 31）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,000 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている		
No.17 事業名	I T 企業立地支援	31 年度 予算額	10,440 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、U I ターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- I T 関連企業の立地優遇制度により、I T 関連企業の誘致の推進、I T 関連の高度技術を有する起業家等の定着及び集積を図る。

1 事業内容

(1) I T 関連事業所開設支援補助金【4,840 千円】

市内の空き店舗等を活用し、市内に新たに I T 関連の事業所を開設する事業者
に補助金の交付を行う。

ア 対象経費 ①賃借料、②通信回線使用料、③建物改修費、④事務機器取得費、
⑤開設費、⑥人材育成費

イ 補助率 指定事業者：補助対象事業費の 1/2 以内
指定事業者以外：補助対象事業費の 1/4 以内

ウ 限度額 ①②60 万円/年、③150 万円、④⑤50 万円、⑥20 万円/人

エ 期間 ①②3 年間、③④開設時 1 回、⑤事業開始 1 年前～事業開始の日、
⑥事業開始 1 年前～事業開始 1 年後

(2) 豊岡市高度 I T 起業家等集積支援事業補助金【5,600 千円】

I T 業界で顕著な事業実績を有する起業家等による事業所開設の支援として、
県が兵庫高度 I T 起業家等集積支援事業補助金を交付する事業者に伴伴補助を行
う。

ア 対象経費 ①賃借料、②通信回線使用料、③高度 I T 起業家等の人件費、
④建物改修費、⑤事務機器取得費

イ 補助率 1/4 以内（県の補助金と合わせた補助率は 1/2 以内）

※人件費は定額補助

ウ 限度額 ①②30 万円/年、③500 万円/年、④75 万円、⑤25 万円

※市が交付する補助金の限度額

エ 期間 ①②③3 年間、④⑤開設時 1 回

2 事業期間

2016（平成 28）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

10,440 千円 （ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている			
No.18	事業名	企業立地事業者工場等賃借料補助金	31 年度 予算額	1,075 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 若者が UI ターンして働きたいと思える企業が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 企業の都市部からの地方移転、国外工場の国内回帰の動き、市内企業の新規投資に対応すべく、土地、建物等の賃借料の一部を補助し、企業立地を促進する。

1 事業内容

事業者が、土地、建物又は機械設備を賃借して工場等を新增設する場合、又はオフィスビル等の建物を賃借して事務所、営業所等として利用する場合に賃借料の一部を補助する。

(1) 適用要件

次のいずれかに該当するもの。

ア 豊岡市企業立地促進条例の規定に基づき指定を受けた指定事業者

（投下固定資産総額 50,000 千円以上、常用従業員の新規雇用者数 1 人以上他）

イ 兵庫県のオフィス立地促進賃料補助金の要件を満たす事業者

（常用従業員の新規雇用者数 6 人以上他）

(2) 補助内容

ア 対象経費 土地、建物又は機械設備の賃借料

イ 補助率 賃借料の 4 分の 1

ウ 限度額 1,000 千円／年
エ 期間 3 年間

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,075 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている			
No.19 事業名	企業立地促進条例による奨励金	31 年度 予算額	22,967 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

○ 企業誘致の推進により、産業基盤が強化され、雇用機会が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○ 本市の地域特性を生かして環境経済型企業及び新たな経済的環境にふさわしい多様な産業の集積を促進する。

1 事業内容

指定事業者に対し、下記の奨励金の交付を行う。

(1) 雇用奨励金【5,400 千円】

常用従業員の新規雇用者一人あたり 30 万円を交付（一人につき 1 回限り）。
限度額は対象となる 5 年度間の合計で 3,000 万円。

(2) 工場等設置奨励金【17,567 千円】

ア 土地・家屋・償却資産を対象とする場合

(ア) 要件 次の①及び②に該当すること

① 常用従業員の新規雇用者が 3 人以上

② 土地又は建物を取得すること

(イ) 内容 操業開始の日以降において、当該工場等に新たに固定資産税が賦課されることとなった年度から 5 年度間における各年度の固定資産税の賦課額に相当する額

イ 償却資産のみを対象とする場合

(ア) 要件 次の①及び②に該当すること

① 常用従業員の新規雇用者が 1 人以上

② 投資する機械設備等（償却資産）の総額が 5,000 万円以上

(イ) 内容 当該工場等に新たに固定資産税が賦課されることとなった年度における固定資産税のうち償却資産の賦課額に相当する額

2 事業期間

2005（平成 17）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

22,967 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている			
No.20 事業名	コウノトリ育む農法無農薬栽培の推進	31 年度 予算額	23,080 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により農村に子どもたちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 市場評価の高いコウノトリ育む農法無農薬栽培の推進により、農家所得の向上を目指す。

1 事業内容

コウノトリ育む農法無農薬栽培の収量と品質の高位安定を目指し、2014（平成 26）年度から 2016（平成 28）年度に実証した「ポット成苗＋機械除草」の普及拡大を進めるため、専用機械の購入を支援する。

2 事業期間

2014（平成 26）年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

23,080 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



ポット成苗
初期育成が旺盛で、雑草に負けない



ポット苗専用田植機（上）と乗用型除草機（下）の導入により収量と品質の高位安定を目指す。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

戦略・手段	A02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている			
No.21 事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進	31 年度 予算額	6,644 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により農村に子ども達の笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ野生復帰を核とした豊岡農業の情報発信を図り、市場経済に認められた真のブランド米として確立する。

1 事業内容

- (1) 消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、JAたじまと協働し情報発信等を展開する。
- (2) 高付加価値品種「いのちの壺」のブランドを確立するため、本格販売に向けたプロデュースを行う。

2 事業期間

2012（平成 24）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

事業費総額 6,644 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



兵庫県、JAたじまと連携した店頭販売イベント（沖縄サンエー）



高付加価値品種「いのちの舌」

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

戦略・手段	A 02-01	やりがいと安定した収入が得られる仕事が増えている
No.22 事業名	スマート農業推進	31 年度 予算額 2,347 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ICT（情報技術）や IoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産の農業がおこなわれている。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ育む農法の面積拡大と品質向上のため、センシング技術による生育初期の水管理の省力化と生産管理のデータ化を行うほか、水稻低コスト栽培技術の実証を行い、コスト削減による農家所得の向上を図る。
- また、スマート農業の導入によって、農業者の作業負担軽減等を図る。

1 事業内容

- (1) スマート農業推進実証業務委託（水田センサー設置等）【636 千円】

コウノトリ育む農法（無農薬）に取り組む農家は、特に 4 月から 6 月の間の水

田管理に多くの時間と労力を要している。このため、水位、水温及び地温のセンサーを設置して、通信回線を介してスマートフォン等で確認できるようにすることにより、水管理の省力化について実証する。

(2) 水稻低コスト栽培技術実証業務委託（鉄コーティング湛水直播）【711 千円】

田植え作業を省力化、低コスト化することにより農家所得が向上するよう、種粃を直接点播し、育苗に係るコストを低減する「鉄コーティング^{たんすいちよくは}湛水直播」技術の実証を行う。

(3) スマート農業技術の導入支援【新規】【1,000 千円】

比較的少額な設備投資で誰でも導入しやすく、且つ、省力化につながるスマート農業技術を導入する農家を支援する。

ア 対象者 専業農家及び第1種兼業農家

イ 補助率 対象経費の2分の1

ウ 限度額 500 千円

2 事業期間

2018（平成30）年度～2019（平成31）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,347 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



水稲低コスト技術の実証

〔湛水直播、管理システム(アプリ)〕



代掻き後の水田に種籾を播く、湛水直播

〔湛水直播〕

水田に直接種子を播種する。育苗作業の必要がなく、省力化、低コスト化が図れる。



目的

各種技術を導入するための実証（試用）を行う。

省力化による規模拡大の実現と育苗コスト低減による農家所得の向上を目指す。

スマート農業技術の導入支援

【リモコン式自走草刈機】



【水田ボート・ホバークラフト】



【アシストスーツ】等



目的

比較的少額な設備投資で誰でも導入しやすく、且つ、省力化につながるスマート農業技術を導入する農家を支援する。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的 手 段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	31 年度 予算額	106,007 千円
------------	------------	-------------------------	--------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
23	新規就農総合支援	30,624 千円	継続
24	豊岡農業スクール	12,940 千円	継続
25	靴縫製者トレーニング	— 千円	継続
26	創業支援事業	1,349 千円	継続
27	子育て中の女性の就労促進	3,495 千円	継続
28	内発型産業育成Ⅰ （チャレンジ応援のしくみ新設）	12,361 千円	新規
29	内発型産業育成Ⅱ （ステップアップ・創業補助）	35,972 千円	新規
30	政策アドバイザー設置	9,266 千円	拡大
合計		106,007 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.23	事業名	新規就農総合支援	31 年度 予算額	30,624 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業後継者を確保し、将来にわたり農業を持続可能な産業に結び付ける。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡で農業を頑張る若者に対し、園芸用ハウスや農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助により住居負担を軽減することで、地方創生の柱である若者の定住を推進する。

また、国の農業次世代人材投資事業を活用し、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する資金を交付し、若者の農業への定着を図る。

1 事業内容

- (1) 若手農家支援事業【12,228 千円】
 - ア 園芸用ハウス整備費助成事業
園芸用ハウス整備に係る資材費・施工費の 1/2 以内(上限 3,000 千円)を補助
 - イ 農業用機械等整備費助成事業
農業用機械等の導入経費の 1/2 以内(上限 3,000 千円)を補助
 - ウ 住居費助成事業
市外から転入し、市内の賃貸住宅に居住する新規就農者・豊岡農業スクール生
に対し、家賃の 1/2 以内(上限 20 千円/月)を補助
- (2) 農業次世代人材投資事業【18,000 千円】
国制度を活用し、1 年あたり最高 1,500 千円/人の資金を最長 5 年間交付する。
- (3) 就農イベント出展事業【396 千円】
就農希望者が集うイベントに参加し、新規就農者を発掘する。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

30,624 千円

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）
（新規就農総合支援事業費補助金 補助率：10/10）



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.24 事業名	豊岡農業スクール	31 年度 予算額	12,940 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業後継者を確保し、農業が持続可能な産業になっている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の農業は、新規就農者及び農業後継者の確保・育成が喫緊の課題であり、明日の農業の担い手を養成するため、就農意欲の高い若者に対して、円滑に就農するために必要な生産技術力、経営管理能力及び環境創造型農業等を「豊岡農業スクール」で習得させ、農業を持続可能な産業に結び付ける。

1 事業内容

市が就農意欲のある研修生（年 3 人）の募集と事前登録された認定農業者への派遣研修（最長 3 年）事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。

2 事業期間

2013（平成 25）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

12,940 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



【参考】

- ・現在まで 17 人が入校（H31.1 月現在）
- ・内 9 人が同スクールを卒業し、市内で雇用就農・自営就農した。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.25	事業名	靴縫製者トレーニング	31 年度 予算額	— 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 靴産業で働く若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 靴製造の担い手を育成し、市内靴企業で雇用・育成することで、靴産業の振興及び保護と地域経済の活性化を図る。

1 事業内容

豊岡 K-site 合同会社が但馬技術大学校から委託を受け、「靴縫製者トレーニング事業」を実施する。

- (1) 縫製技術の基礎学習
- (2) 縫製の実技訓練
- (3) 市内靴製造企業でのインターン実習

2 事業期間

2013（平成 25）年度～

3 事業主体

2013（平成 25）年度～2016（平成 28）年度 豊岡市

2017（平成 29）年度～ 鞆縫製者トレーニングセンター（豊岡 K-site 合同会社）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.26	事業名 創業支援事業	31 年度 予算額	1,349 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。また、多様な人々が出会い、交流することにより、新たなつながりや事業が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 創業者同士の交流促進、商工団体や金融機関と連携した創業セミナーの開催等により、市内の創業機運を高め、特に若者・女性の創業件数を増加させる。

1 事業内容

(1) 創業支援関連事業の実施

商工団体（豊岡商工会議所、豊岡市商工会）や金融機関等と連携し、コワーキングスペース「FLAP TOYOOKA（フラップ トヨカ）」を活用した創業者向けセミナーや研修会、交流イベントを開催する。



(2) 豊岡市創業・事業者支援ネットワークの運営

商工団体、金融機関及び士業団体で構成する「豊岡市創業・事業者支援ネットワーク」を通じた情報収集や意見交換をもとに、豊岡市創業支援等事業計画を策定する。

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,349 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.27	事業名	子育て中の女性の就労促進	31 年度 予算額	3,495 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

○ 子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○ 人材不足に悩む市内の事業所に対し、子育て中の女性にとって働きやすい職場環境の整備を促すとともに、働きたいが働けていない子育て中の女性の就労を促す。このことにより、働きたい女性の願いを叶え、子育てに関する経済的なハードルを下げるとともに、若い女性に「子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く」ロールモデルを示す。

1 事業内容

(1) 子育て中の女性向けワークショップ

「子育てをしながら働く」ということを具体的にイメージし、実行に繋げられるようなワークショップを開催する。

(2) 事業所へのプチ勤務導入促進

子育て等で時間制約のある方でも働きやすい「プチ勤務」の導入を市内事業所に勧める。

〈参考〉プチ勤務…1日2・3時間～、週1日～といった、超短時間勤務のこと

(3) お仕事大相談会の開催

子育て中の女性とプチ勤務導入事業所の、働き方の相談の場を設ける。

2 事業期間

2018（平成 30）年度～2022（平成 34）年度

3 事業主体

豊岡市



子育て・お仕事大相談会の様子 (H30. 10. 22)

4 予算額（補助率・負担率等）

3,495 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.28	事業名	内発型産業育成 I （チャレンジ応援のしくみ新設）	31 年度 予算額	12,361 千円	新規

《目指す将来像（姿）》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的（趣旨）》

- 成長を目指す企業、創業に取り組む若者や女性を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

(1) チャレンジ応援のしくみ新設

コワーキングスペース「FLAP TOYOOKA（フラップ トヨカ）」に、ビジネスに関する総合相談機能を新設し、中小企業等のチャレンジを応援する。

(2) 内容

- ア 相談員を配置して相談業務を行う。
- イ 初年度は月 4 日程度の相談日を設定し、新たな事業に取り組む意欲のある中小企業者や、起業を考えている若者や女性のスタートアップを重点支援する。
- ウ 専門分野については、外部アドバイザーも活用して支援を行う。
- エ 支援にあたっては、商工団体（豊岡商工会議所、豊岡市商工会）や金融機関などと連携し、市補助制度（ステップアップ支援事業・創業支援事業）や国県補助制度を有効活用する。

2 事業期間

2019（平成 31）年度～2021（平成 33）年度

3 事業主体

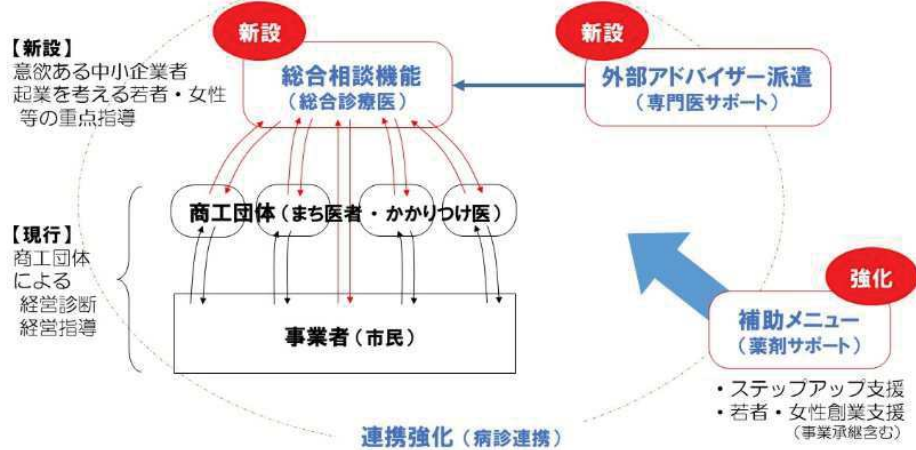
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

12,361 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

「チャレンジ応援のしくみ」イメージ図

※（ ）は医療に例えた場合



担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
No.29 事業名	内発型産業育成Ⅱ (ステップアップ・創業補助)	31年度 予算額
		35,972 千円
		新規

《目指す将来像（姿）》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的（趣旨）》

- 成長を目指す企業、創業に取り組む若者や女性を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

(1) ステップアップ支援事業【20,000 千円】

具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す企業の新製品やサービスの開発、販路の拡大等に要する経費を支援する。

ア 補助率 対象経費の2分の1以内

イ 上限額 商工団体の伴走支援等を受ける事業（伴走型） 1,500 千円
事業所単独で実施する事業（単独型） 500 千円

ウ 対象経費 設備導入費、展示会出展費、マーケティング戦略策定費など

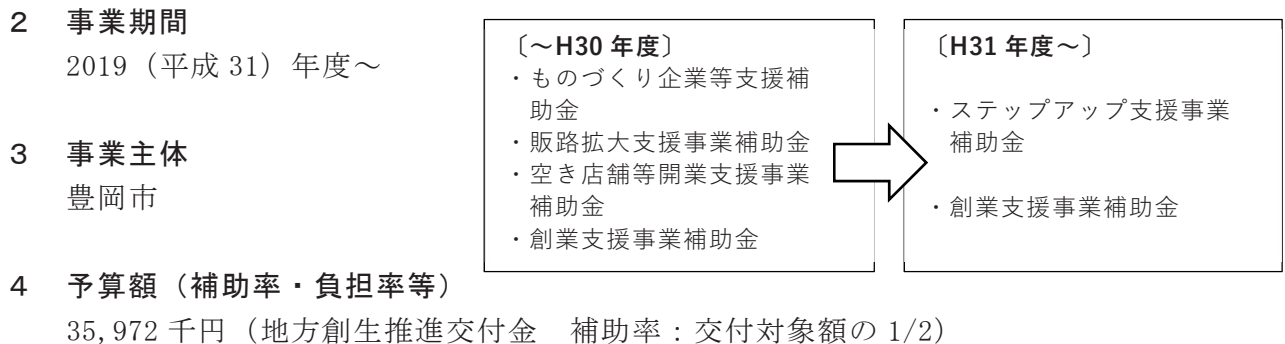
(2) 創業支援事業【15,000 千円】

創業・事業承継に取り組む若者・女性のスタートアップに要する経費を支援する。

- ア 補助率 対象経費の2分の1以内
 イ 上限額 1,000 千円
 ウ 対象経費 事業所開設費、広告宣伝費など

(3) 事務費【972 千円】

目的を絞って、使いやすく！



担当課名【環境経済課】（内線 2301）

戦略・手段	A 02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.30	事業名 政策アドバイザー設置(3 名)	31 年度 予算額	9,266 千円	拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域の課題を解決するための新たな事業や仕事にチャレンジする人が増え、その取組みが継続的に行われている。
- 統一・調和したデザインにより、まちの景観がつけられている。
- データを活用し、マーケティングの視点を取り入れた事業が継続的に行われている。

《事業目的（趣旨）》

- 政策・施策を実施するにあたり、市政における重要課題など政策的事項又は専門的事項について、専門的知識や技術、経験などを有する方から指導、助言を受け、市政の発展を図るため、豊岡市政策アドバイザーを設置する。

1 事業内容

本市の政策・施策を推進するにあたり、具体的な課題に対し専門的立場から助言等を行う政策アドバイザーを設置する。

【助言を求める分野】

- (1) ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスに関する分野

- (2) まちづくりにおけるデザイン全般に関する分野
- (3) データ分析やマーケティング全般に関する分野【新規】

2 事業期間

2018（平成 30）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

9,266 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

具体的 手 段	A 02-03	人とつながり、支え合う喜びを感じ る人が増えている	31 年度 予算額	— 千円
------------	------------	------------------------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
—	* 該当事業無し	— 千円	
合計		— 千円	

具体的 手 段	A 02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている	31 年度 予算額	25,960 千円
------------	------------	------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
31	ジェンダーギャップ解消推進	7,262 千円	新規
32	ワークイノベーション推進	10,270 千円	拡大
33	保育士等確保推進	8,428 千円	継続
重複	(No.27) 子育て中の女性の就労促進	(3,495 千円)	継続
合計		25,960 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている
No.31 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	31 年度 予算額 7,262 千円 新規

《目指す将来像（姿）》

- 多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくりを進めるにあたり、現時点で最大の課題と考えられるジェンダーギャップ（性別に基づき定められた社会的属性、機会等の格差）が解消されている。

《事業目的（趣旨）》

- 職場等におけるジェンダーギャップの現状等を市民と共有し、ジェンダーギャップ解消のための対策を講じる。

1 事業内容

(1) シンポジウムの実施

- ア 日程：2019（平成 31）年 5 月中旬（予定）
- イ 場所：豊岡市民プラザ ほっとステージ（予定）
- ウ 対象：市民（特に、市内事業所・市役所・小中学校の管理職等）
- エ 内容：講演とパネルディスカッション

(2) ジェンダーギャップ解消のための戦略策定に向けた意識調査等の実施

- ア アドバイザー設置
- イ 市民への意識調査の実施
- ウ 2020（平成 32）年度～ ジェンダーギャップ解消のための戦略策定

2 事業期間

2019（平成 31）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

7,262 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【政策調整課】（内線 2083）

戦略・手段	A-02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている		
No.32 事業名	ワークイノベーション推進	31 年度 予算額	10,270 千円	拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。

また、この戦略の推進を始めとした「多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり」を進めることにより、若い女性の U I ターンの増加につなげる。

1 事業内容

- (1) 市民の理解拡大、経営者の認識向上
ジェンダーギャップの解消に取り組む理由、女性にとって働きやすく働きがいがある職場の事例やそのメリット、取組みの進捗状況等を伝える。
- (2) 経営者の意識改革
ワークショップ、事例共有会を開催する。
希望する事業所には、従業員アンケートの実施を支援する。
- (3) 人事担当者の意識改革・改善手法検討
ワークショップ、事例共有会を開催する。
- (4) 管理職、従業員の意識・行動改革、女性従業員のキャリア形成支援
演劇的手法等を用いたワークショップを開催する。
- (5) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

女性の働きやすさ、働きがいがある一定水準に達している事業所の審査・表彰制度を検討する。

2 事業期間

2018（平成 30）年度～2027（平成 39）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,270 千円

（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



人事担当者向けワークショップの様子（H31.1.28）

担当課名【UI ターン戦略室】（内線 2313）

戦略・手段	A 02-04	多様な生き方に応じた居場所と出番が増えている		
No.33	事業名	保育士等確保推進	31 年度 予算額	8,428 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内保育所等の「働きがい」や「働きやすさ」が高まり、保育士として働いている人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 保育ニーズの高まりにより待機児童が増加している中、平成 31（2019）年 10 月から実施される予定の幼児教育無償化により、さらに大幅に保育の需要が増加することが見込まれることから、保育士等の確保対策などを早急に検討し、待機児童解消を推進する。

1 事業内容

待機児童解消対策の最優先課題である保育士等の確保を推進するため、保育所等を「働きやすい職場」、「働きたい職場」として魅力を高める業務改善策を 2 か所のモデル園において試行し、効果的な施策をとりまとめて市内全園に広げる。

- (1) 業務の効率化施策の検証（ICT の活用、事務のシステム化等）
- (2) 短時間勤務者・保育補助者の受入れによるワークシェアの検証
- (3) 配置人数と就労時間の適正化の検証
- (4) 幼児教育・保育の専門家の指導による質の高い教育・保育の実践研修
- (5) 質の高い幼児教育・保育の展開と両立する業務効率化施策の検証

2 事業期間

2018（平成 30）年度～2019（平成 31）年度

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
8,428 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども育成課幼保政策室】（内線 2552）

具体的 手 段	A 02-05	自然とのつながりを楽しむ人が増えている	31 年度 予算額	13,112 千円
------------	------------	---------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
34	コウノトリ野生復帰推進	13,112 千円	拡大
重複	(No.54) 子どもの野生復帰	(10,000 千円)	継続
合計		13,112 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 02-05	自然とのつながりを楽しむ人が増えている
No.34 事業名	コウノトリ野生復帰推進	31 年度 予算額 13,112 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 世界中の人が豊岡のコウノトリ野生復帰の取組みを知り、豊岡を訪れる人が増え、コウノトリ野生復帰を応援してもらうことで、コウノトリ野生復帰の取組みが進んでいる。

《事業目的（趣旨）》

- イギリスで開催される世界最大の野鳥観察の展示会「バードフェア 2019」への出展や国立台湾大学農業ミュージアムでの企画展により、豊岡のコウノトリ野生復帰の取組みを世界へ発信し、認知度の向上を図る。

1 事業内容（主なもの）

(1) バードフェア 2019 への出展

「バードフェア 2019」に出展し、市長講演やブース展示を通じてコウノトリ野生復帰の取組みを世界へ発信するとともに、海外メディア等に発信力のあるキーパーソンと面会し、豊岡のコウノトリ野生復帰の取組みを伝え、認知度の向上を図る。

ア と き 2019（平成 31）年 8 月 16 日（金）～18 日（日）

イ と ころ イギリス ラトランド・ウォーター

ウ 内 容 市長講演、ブース展示、キーパーソンとの面会

(2) キーパーソンの豊岡招聘【新規】

海外メディア等に発信力のあるデイビット・リンドー氏を豊岡に招聘し、コウノトリ野生復帰の取組みを核とした豊岡の魅力を世界へ発信する。

※デイビット・リンドー

Wildfowl&Wetlands Trust 副代表、英国 B B C 等のテレビ番組に出演、作家、講演者、バードウォッチングツアーリーダー

(3) ドキュメンタリー映画「KOUNOTORI」権利の買取り【新規】

映画は海外プロモーション用の映像として活用するほか、ふるさと教育やコウノトリ野生復帰の普及啓発映像として活用する。

(4) コウノトリ野生復帰海外情報発信用パンフレットの作成【新規】

コウノトリ野生復帰の取組みを世界へ発信するため、海外プロモーション用のパンフレットを作成する。

(5) 国立台湾大学農業ミュージアム企画展の共同実施【新規】

国立台湾大学から依頼を受け、同大学の農業ミュージアムでコウノトリ野生復帰の取組みやその要であるコウノトリ育む農法に関する展示を行うとともに、シンポジウムで市長講演を行う。

ア と き 2019（平成 31）年 10 月 1 日（火）～2020 年 3 月（終了日は未定）

イ ところ 国立台湾大学 農業ミュージアム

ウ 内 容 コウノトリ野生復帰とコウノトリ育む農法に関する展示、シンポジウムでの市長講演

2 事業期間

(1) バードフェア 2019 への出展 2018（平成 30）年度～

(2) キーパーソンの豊岡招聘 2019（平成 31）年度

(3) ドキュメンタリー映画「KOUNOTORI」権利の買取り 2019（平成 31）年度

(4) コウノトリ野生復帰海外情報発信用パンフレットの作成 2019（平成 31）年度

(5) 国立台湾大学農業ミュージアム企画展の共同実施 2019（平成 31）年度

3 事業主体

(1)～(4) 豊岡市

(5) 豊岡市、国立台湾大学

4 予算額（補助率・負担率等）

13,112 千円（地方創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



2018 バードフェア 豊岡市の展示ブース



バードフェアにおける市長講演

主要手段 A02 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる（高付加価値・成熟化・多様性）



○国立台湾大学農業ミュージアム企画展

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

具体的 手 段	A 02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている	31 年度 予算額	104,262 千円
------------	------------	-------------------------	--------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
35	文化芸術創造交流 （Toyooka Art Season2019）	12,632 千円	継続
36	文化芸術創造交流 （市民参加の演劇・演劇ワークショップ）	10,743 千円	継続
37	芸術文化情報発信	619 千円	継続
38	永楽館歌舞伎	77,868 千円	継続
39	芸術文化参与の設置	2,400 千円	継続
重複	（No. 6）ディレクター等の配置（K I A C）	（19,351 千円）	継続
合計		104,262 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段 A 02-06 自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている				
No.35	事業名	文化芸術創造交流 （Toyooka Art Season 2019）	31 年度 予算額	12,632 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
- 世界的な作品が豊岡で創作、発信されていることで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡アートシーズン」という枠組みの元、市の文化施設や観光資源の特徴を活かした文化芸術事業を展開し、優れた文化芸術を鑑賞する目を持つ市民を育てる。
また、事業を一体的に広報・PR することで「文化・芸術のまち 豊岡」のイメージを市内外へ発信する。

1 事業内容

演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2019（豊岡アートシーズン 2019）」として展開し、市の文化芸術の魅力を内外に向け発信する。

<Toyooka Art Season2019 の主要プログラム> ※()内の日程は変更の可能性あり。

(1) 文化振興課

- ア とよおかアート縁日（実施日未定）
- イ 出石永楽館子ども歌舞伎ワークショップ（8月上旬）
- ウ 青年団子ども参加型演劇『サンタクロース会議』学校公演（11月下旬～12月上旬）

(2) 豊岡市民会館

- ア おでかけ訪問コンサート（4～6月、10・11月）
- イ 音楽レクチャー（年間）
- ウ 観世流能レクチャー（8・9月）

(3) 生涯学習課

- ア 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭～おんぷの祭典～（6/4～9）

(4) 豊岡豊岡市民プラザ

- ア 劇の学校（5～8月、11月）
- イ 演劇プロジェクト ^{ないとうひろのり}内藤裕敬と関西の俳優たち×市民演劇（8月下旬～9月上旬）
- ウ アートスクール 2019（9月中旬）
- エ ^{だいらくだかん}大駱駝艦・^{たむらいっこう}田村一行舞踏公演（2020年1月下旬～2月上旬）

(5) 大交流課（城崎国際アートセンター）

- ア ^{テアトロ イン'プロヴィーゾ コンパニー セマフォール}Teatro all' improvviso×Cie Sémaphore『ファンタスティック！（仮）』滞在制作&豊岡公演（7月、@城崎国際アートセンター）
- イ ^{よこしやすこ}余越保子『^{シャッフレイヤマンバ}shuffleyamamba』滞在制作&豊岡公演（10月、@出石永楽館）
- ウ ^{たむらゆういちろう}田村友一郎インスタレーション型上演（タイトル未定）（3月、@豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」・城崎国際アートセンター）

2 事業期間

2016（平成 28）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

全体 42,433 千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

（内訳）

- ・文化振興課 12,632 千円
- ・豊岡市民会館 7,077 千円（市民会館自主事業）
- ・生涯学習課 7,207 千円（No. 61 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催）
- ・豊岡市民プラザ 8,608 千円（No. 36 文化芸術創造交流 ※事業費は抜粋）
- ・城崎国際アートセンター 6,909 千円（No. 40 城崎国際アートセンター自主事業）

担当課名【文化振興課】（内線 2771）
 【生涯学習課】（内線 2741）
 【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている			
No.36	事業名	文化芸術創造交流（市民参加の演劇・演劇ワークショップ）	31 年度 予算額	10,743 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 人々が豊岡の「豊かな暮らし」を楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 一流の文化芸術活動を行う劇団や俳優を招聘し、市民を巻き込んだ文化芸術創造交流を行う。市民が豊岡で文化芸術活動に取り組むことで、市民の文化芸術への関心を高め、地域の文化芸術活動のレベルアップと活性化を図る。

1 事業内容

(1) 文化芸術創造交流事業【8,608 千円】

ア 劇の学校

- (ア) 小中高校生対象の舞台芸術体験講座
- (イ) 長野県上田市との高校生演劇交流事業

イ 豊岡オリジナル現代ダンス制作・公演（大駱駝艦・田村一行舞踏公演）

ウ アートスクール（一流の専門家講師陣による集中舞台講座）

エ 演劇プロジェクト 内藤裕敬と関西の俳優たち×市民演劇 （市民参加型演劇の制作・公演）

(2) （一財）地域創造助成事業【2,135 千円】

ア おとなのための演劇学校（市民のための演劇創造講座）

イ 入門！舞台スタッフ～地域文化を支える市民の舞台技術入門講座～ （一般市民向けの照明・音響・舞台技術入門講座）

2 事業期間

2016（平成 28）年度～2020（平成 32）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,743 千円



平成 30 年度演劇プロジェクト『楽園』的一幕

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

戦略・手段	A 02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.37 事業名	芸術文化情報発信	31 年度 予算額	619 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 芸術文化による「豊かな暮らし」を実現するため、市民への情報提供の充実や、様々な階層で参加可能なプログラムの実施など、日々の生活の中で芸術文化に触れる機会を提供する。

1 事業内容

レクチャー&ワークショップの開催

介護や子育てといった日常的な関心ごとと舞台芸術を結びつけて活動しているアーティストを招き、舞台芸術やアートが日常生活にも活用できる可能性を提示する。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

619 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（内線 32-3888）

戦略・手段	A02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.38	事業名 永楽館歌舞伎	31 年度 予算額	77,868 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 多くの歌舞伎ファンが、恒例の行事として永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。
- わが町の歌舞伎公演として、多くの市民が公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

- 2008（平成 20）年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を発揮できる活用策として、歌舞伎公演を開催している。引き続き文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として『第 12 回永楽館歌舞伎』を開催する。

1 事業内容

- (1) 公演期間（予定） 2019（平成 31）年 11 月 4 日（月）～10 日（日） 7 日間
- (2) 公演回数 13 回公演
- (3) 会 場 豊岡市立出石永楽館
- (4) 内 容 片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演
- (5) 料 金 一般 12,000 円、学生 3,000 円（全席指定席）

※学生料金の対象者は、市内在住または通学する小・中学生、高校生。

2 事業期間

2008（平成 20）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

77,868 千円



担当課名【出石振興局 地域振興課】（内線 5607）

戦略・手段	A 02-06	自分の時間を持ち、暮らしを楽しむ人が増えている		
No.39	事業名 芸術文化参与の設置	31 年度 予算額	2,400 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 文化芸術を身近に感じ、日々の暮らしの一部として親しむ市民が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 平田オリザ氏は、2015（平成 27）年度に「芸術文化政策の基本戦略」や「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略のアドバイザーとして芸術文化参与に就任。地方創生総合戦略等の一層の推進を図るため、引き続き本市の文化芸術分野における様々な指導助言を受ける。

1 事業内容

(1) 地方創生戦略等の推進

ア 地方創生戦略会議

芸術文化政策による地方創生の推進（政策調整課）

イ 城崎国際アートセンターの芸術監督

メイドイン豊岡による舞台芸術の発信（大交流課）

ウ 専門職大学開設への助言（大交流課）

エ 文化芸術創造交流事業の推進

Toyooka Art Season による文化芸術の魅力の発信（文化振興課）

オ コミュニケーション教育推進事業（こども教育課）

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,400 千円

担当課名【文化振興課】（内線 2771）

具体的 手 段	A 02-07	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている	31 年度 予算額	8,409 千円
------------	------------	----------------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
40	城崎国際アートセンター自主事業	6,909 千円	継続
41	文化と教育の先端自治体の連携	1,500 千円	継続
合計		8,409 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 02-07	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている		
No.40 事業名	城崎国際アートセンター 自主事業	31 年度 予算額	6,909 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 最先鋭の舞台芸術を楽しむため、市内外から多様な人が集い、まちが賑わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 最先端の舞台芸術により芸術文化に親しんでいただく機会を提供することにより、市内外からの誘客を図り、関係人口を増やす。

1 事業内容

以下の公演等を自主事業として実施する。

- (1) Teatro all' improvviso×Cie Sémaphore『ファンタスティック！（仮）』
【2,131 千円】

ア 滞在制作&豊岡公演 2019（平成 31）年 7 月

イ 場所 城崎国際アートセンター

ウ 内容 フランスの劇団 Cie Sémaphore とイタリアの劇団 Teatro all' improvviso による、「ファンタスティック」をテーマにした子ども・家族向け舞台作品のクリエーションと公演。（仏伊国際共同製作）

- (2) 余越保子『シャッフレイヤマンバ』【3,385 千円】

ア 滞在制作&豊岡公演 2019（平成 31）年 10 月

イ 場所 出石永楽館

ウ 内容 振付家の余越保子が能『山姥（やまんば）』を題材に、女性アーティストの芸の継承について考察するダンス作品。（DanceBox と鳥の演劇祭との共同製作）

(3) 田村友一郎^{たむらゆういちろう}インスタレーション型上演『タイトル未定』【1,393 千円】

- ア 期日 2020（平成 32）年 3 月
 イ 場所 豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」、城崎国際アートセンター
 ウ 内容 映像・写真・インスタレーション・パフォーマンスなど、多彩な手法を用いて創作を行うアーティスト田村友一郎によるインスタレーション型の上演作品。市内でのリサーチを通して、美術と舞台芸術の領域を横断し、芸術と地域資源の新たな関係性の構築、展覧会における上演の可能性を追求する。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,909 千円

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（電話 32-3888）

戦略・手段	A 02-07	外から豊岡とつながり、行き来する関係人口が増えている			
No.41	事業名	文化と教育の先端自治体の連携	31 年度 予算額	1,500 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 文化・芸術・教育に関心の高い若者や子育て世代が、豊岡に魅力を感じている。

《事業目的（趣旨）》

- 文化や教育による先端的なまちづくりを進めている自治体が連携し、互いの強みを磨き、足りないところを学び合うとともに、新たな価値観、手法などを共同で情報発信や構成自治体の住民・職員の理解と浸透を促進する。

1 事業内容

構成自治体（2 市 3 町：北海道東川町、富山県南砺市、岡山県奈義町、香川県小豆島町、豊岡市）が連携しながら、文化や教育による先端的なまちづくりの取組みを進める。

【主な取組】

- (1) 構成自治体職員等の研修

文化と教育のまちづくりの意義や価値を考え、まちづくりにおける俯瞰した視点や多様性の認識など政策企画の前提となる能力を磨く研修を開催する。

※ 2019（平成 31）年度は豊岡市にて開催予定。

(2) 連合のW e b サイト運営

連合の理念や構成自治体の取組み、合同イベントなどの情報発信等を行う。

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,500 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的 手 段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を 楽しんでいる	31 年度 予算額	110,543 千円
------------	------------	---------------------------	--------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
42	外国人観光客プロモーション (旅行博出展・海外情報発信拠点設置等)	37,358 千円	継続
43	観光地マーケティング (観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)	25,036 千円	継続
44	外国人観光客受入体制整備	8,443 千円	継続
45	夢但馬周遊バス運営	2,075 千円	継続
46	(仮称) 豊岡国際演劇祭協同開催	16,101 千円	新規
47	但馬空港利用促進	11,340 千円	継続
48	城崎温泉街交通環境改善	5,190 千円	継続
49	円山川沿線サイクリングロード整備	5,000 千円	継続
合 計		110,543 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
No.42 事業名	外国人観光客プロモーション (旅行博出展・海外情報発信拠点設置等)	31 年度 予算額 37,358 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- ターゲット市場における豊岡の認知度が高まり、外国人観光客が豊岡の観光情報を簡単かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、市を訪れる外国人観光客が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- ターゲット市場に対する WEB 広告の配信や、現地旅行社やメディアへの売込みによる露出拡大により、豊岡市の認知度を向上させる。外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」を効率的・効果的に運用することにより、外国人観光客に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。

1 事業内容

- (1) WEB 広告運用事業【2,960 千円】
外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の WEB 上での広告配信
- (2) 観光レップ事業【5,554 千円】
海外セールスレップ（代理店：欧米豪）による現地メディア等への売込み
- (3) 訪日プロモーション地方連携事業【4,194 千円】
海外旅行博への出展（ロサンゼルス・オーストラリア・ドイツ）
- (4) 欧米豪 BtoB マーケティング事業【8,140 千円】
観光レップ等と連携したメディア等へのセールスコール等の実施
- (5) インバウンド地域連携事業【932 千円】（新規）
京都市観光協会（京都市 DM0）、海の京都 DM0 と連携したプロモーションの実施
- (6) 海外向け豊岡市総合サイト制作事業【2,257 千円】（新規）
海外から豊岡市への入口となるグローバルサイトの制作による情報発信
- (7) 豊岡市外国語版ホームページコンテンツ制作事業【2,738 千円】
豊岡の魅力を地域住民の目線で発信する内容を盛り込んだコンテンツの制作
- (8) 豊岡市外国語版ホームページ運用委託事業【3,894 千円】
本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の運営を豊岡観光イノベーションに委託
- (9) 豊岡市外国語版ホームページ管理運営事業【1,725 千円】
本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」の保守管理
- (10) 神鍋エリアインバウンド誘客事業【3,424 千円】
東南アジア及び東アジアをターゲットにした誘客促進及び受入環境整備
- (11) 訪日外国人向け体験プログラム強化事業【1,540 千円】
体験プログラムの造成とプロモーションの実施

2 事業期間

2013（平成 25）年度～

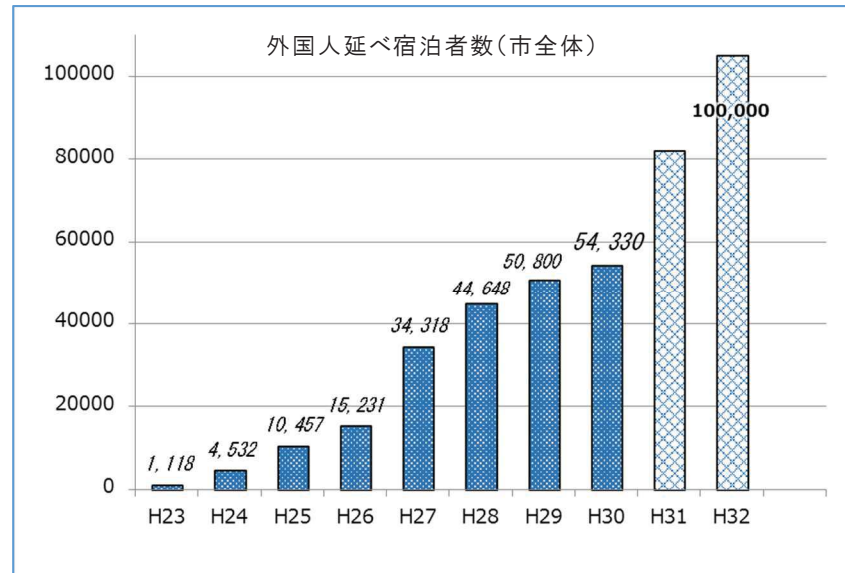
3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

37,358 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.43 事業名	観光地マーケティング (観光客のデータ収集、分析、専門人材配置ほか)		31 年度 予算額	25,036 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 勘と経験頼みの場当たりの観光施策から脱却し、客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。

《事業目的（趣旨）》

- 観光に関する様々な客観的データ（位置情報ビッグデータ等）を取得・分析し、その結果をもとに施策を展開するとともに、施策の効果を定量的に検証する仕組みを導入する。

1 事業内容

- (1) 観光施策に係る評価指標データ収集業務【4,565 千円】

本市が実施する観光施策を評価し、PDCA サイクルを確立するため、評価指標となる基礎データの収集

主要手段 A03 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル&グローバル）

(2) Free Wi-Fi 保守点検【597 千円】

本市が独自に整備した Free Wi-Fi の保守点検業務

(3) 企業人派遣・データアナリスト・プロパー人材配置【19,874 千円】

経営人材やデータ収集・分析の専門家の配置による、豊岡観光イノベーションの事業展開の支援

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

25,036 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.44	事業名	外国人観光客受入体制整備	31 年度 予算額	8,443 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 本市の受入体制が構築され、外国人観光客が多くの感動体験をすることで、良質な口コミが世界中に拡散している。

《事業目的（趣旨）》

- 2016（平成 28）年に実施したインバウンド受入体制整備調査に基づき、本市でしか体験できない文化（外湯体験等）や日本人とのコミュニケーションを介在させるなど、外国人観光客の満足体験を感動体験へと昇華させることで、良質な口コミの発信を促し誘客へとつなげていく。

1 事業内容

(1) インフォメーションカウンター運営委託業務【3,471 千円】

城崎温泉ツーリストインフォメーション（SOZORO）の活用による、外国人観光客向けのインフォメーション機能強化及び着地型ツアーの販売促進

(2) 外国人スタッフ配置事業（JET プログラム）【3,816 千円】

インバウンド関連業務にあたる CIR（国際交流員）の配置

主要手段 A03 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）

- (3) ビクトリア大学受入事業【257 千円】
ビクトリア大学（カナダ）の学生の就業体験およびホームステイ等の受入
- (4) インバウンド受入体制構築事業【899 千円】
本市の歴史・文化・暮らしを外国語で伝えることのできるローカルガイドの養成

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

8,443 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.45	事業名 夢但馬周遊バス運営	31 年度 予算額	2,075 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡を訪れた人が、魅力的な観光地や周辺地域を周遊し、楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 但馬 3 市 2 町の各地域の観光地を運行ルートとする周遊バスを運行し、観光客の交通二次アクセスの整備・充実を図るとともに、地域の魅力をより向上させることによって観光客の周遊と観光地への誘客を促進する。

1 事業内容

(1) 名称

夢但馬周遊バス「たじまわる」

(2) 運行ルート

定期観光バス方式、路線バス方式により、観光地をつなぐ運行ルートを設定
（運行予定コース：市内の主な立ち寄り先）

ア プレミアム

城崎温泉、豊岡駅、コウノトリの郷公園、城下町出石

イ プレミアム冬号

主要手段 A03 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）

- ウ 1号海コース
城崎温泉、城崎マリンワールド、竹野駅、竹野浜
- エ 2号山コース
城崎温泉駅、豊岡駅、（木の殿堂ほか）

- (3) 運行日
土日祝日

- 2 事業期間
2016（平成28）年度～

- 3 事業主体
但馬観光協議会（但馬県民局内）

- 4 予算額（補助率・負担率等）
2,075 千円
・経費負担 兵庫県 2/3、関係市町 1/3、豊岡市負担金 2,075 千円



担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.46	事業名（仮称）豊岡国際演劇祭協同開催	31年度 予算額	16,101 千円	新規

《目指す将来像（姿）》

- 「演劇のまち・豊岡」として、国内外に広く認知され、ブランドイメージが向上し、世界中から人々が来訪して楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市を「演劇のまち・豊岡」として、国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。

1 事業内容

以下は、組織予定の実行委員会にて実施する。

- (1) 第0回（仮称）豊岡国際演劇祭

市内の文化施設等において、演劇等を上演し、市内外から誘客する。

2020 年（第1回）からの本格開催に向けて、運営に関わるノウハウを蓄積し、課題を洗い出す。

ア 日時 9月6～8日（予定） ※プレ事業として開催

主要手段 A03 豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル＆グローバル）

イ 演目 調整中

ウ 会場 城崎国際アートセンター、出石永楽館など（調整中）

(2) （仮称）豊岡国際演劇祭に関する構想策定

第0回の経験も踏まえ、2020年の第1回以降の演劇祭の理念の確立、民間資金の導入を視野に入れた持続可能な推進体制の構築等に向けた構想策定を行う。

2 事業期間

2019（平成31）年度～

3 事業主体

実行委員会（兵庫県、豊岡市、（有）アゴラ企画、NPO法人プラッツ等）

4 予算額（補助率・負担率等）

16,101千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の1/2）

① 演劇祭開催負担金等 7,032千円

② 演劇祭に関する構想策定事業負担金 8,100千円

③ 事務的経費 969千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.47	事業名	但馬空港利用促進	31年度 予算額	11,340 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

○ 多くの人々がコウノトリ但馬空港を利用して来訪し、豊岡を楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

○ 地域活性化を促す交流促進に不可欠な東京（羽田）直行便の実現に向け、豊岡の認知度向上と魅力発信を行い、東京（羽田）乗継利用に重心を置いた現路線を利用した誘客を図り、航空需要を拡大する。

1 事業内容

国内外の旅行者に対し、情報発信力が強い航空会社と協働し、豊岡の魅力を伝え、来訪者の増加と但馬空港の活性化を図る各種プロモーションを実施する。

平成31年度は、首都圏在住者を主なターゲットとし、近年人気がある「フォトツアー」等の各種事業を実施する。

(1) プロカメラマンによる当市観光スポットの撮影等

(2) 各種メディアによる首都圏での情報発信

(3) 但馬空港を利用した各種ツアーの造成

2 事業期間

2016（平成 28）年度～2020（平成 32）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,340 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.48 事業名	城崎温泉街交通環境改善	31 年度 予算額	5,190 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる交通環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。
この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1 事業内容

2016（平成 28）年度に立ち上げた「城崎温泉交通環境改善協議会」を中心に、施策の試験的実施によるデータ収集、分析及び検証を行う。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

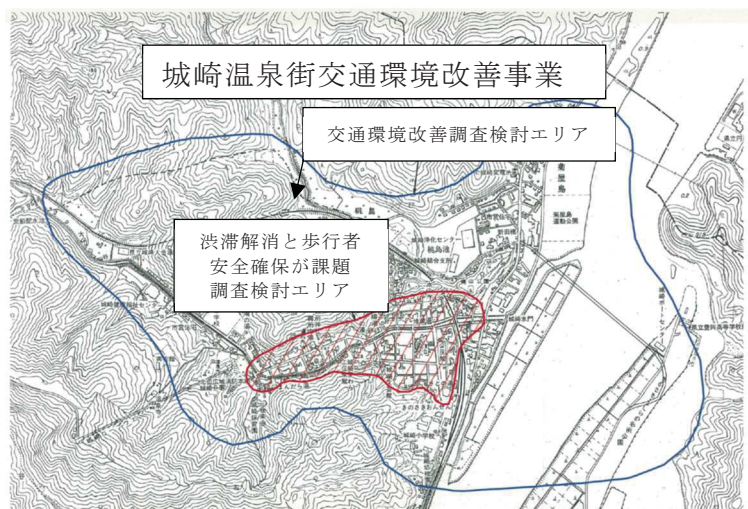
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,190 千円

（地方創生推進交付金

補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【建設課】（内線 2421）

戦略・手段	A 03-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.49	事業名	円山川沿線サイクリングロード整備事業	31 年度 予算額	5,000 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 円山川の雄大な自然を満喫しながらサイクリングを楽しむ外国人観光客がたくさんいる。

《事業目的（趣旨）》

- 円山川沿線には、城崎温泉、玄武洞、コウノトリの郷公園、出石などの多くの観光資源が存在する。

近年のインバウンドブームにより多くの外国人観光客が豊岡を訪れていることから、円山川堤防等をサイクリングロードとして整備し、円山川の雄大な自然に触れながら観光スポットを自転車で巡っていただくことで、改めて豊岡の良さを実感していただくとともに、SNS等で世界中に発信していただく。

1 事業内容

河川管理道（堤防等）や県道等の一部を利用して、路面表示や案内サイン、観光案内板等を設置することにより、サイクリングロードとして整備する。

- (1) 全体計画 整備延長 L=約 51km
- (2) 2019（平成 31）年度計画 整備延長 L=13km

2 事業期間

2017（平成 29）年度～2021（平成 33）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,000 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【建設課】（内線 2421）

具体的 手 段	A 03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	31 年度 予算額	7,240 千円
------------	------------	-------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
50	コウノトリ育むお米海外販売推進	7,240 千円	継続
重複	(No.5) アーティスト・イン・レジデンス	(13,281 千円)	継続
合計		7,240 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 03-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている			
No.50	事業名	コウノトリ育むお米海外販売推進	31 年度 予算額	7,240 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により農村に子どもたちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 海外市場において、コウノトリ育むお米の背景にあるコウノトリ野生復帰を推進する豊岡全体の情報発信を図り、国内外に認められた真のブランド米として確立する。

1 事業内容

- (1) 海外での優位かつ安定した販売網を確立するため、ニューヨークで開催される「日本食レストランエキスポ（商談会）」に出展するとともに、アメリカ国内の取扱店と連携した情報発信を行う。
- (2) 2017（平成 29）年から輸出が始まった香港で販売イベントを展開する。
- (3) 2018（平成 30）年から輸出が始まったオーストラリアの販路を拡大するため、シドニーで開催される「世界お米エキスポ」に出展する。

2 事業期間

2014（平成 26）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

7,240 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



日本食レストランエキスポ
（ニューヨーク）



高級スーパーでの販売プロモーション
（香港）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的 手 段	A 03-03	国内外から優れた人材が集まり、 豊岡の魅力を高めている	31 年度 予算額	36,497 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
51	専門職大学の誘致	13,692 千円	継続
52	アーティスト・クリエイター移住等促進	22,805 千円	拡大
合計		36,497 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 03-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.51	事業名	専門職大学の誘致 (専門職大学誘致推進事業)	31 年度 予算額	13,692 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 但馬地域の強みを生かし、全国や海外からも学生が呼び込める 4 年制の高等教育機関（専門職大学）が設置されている。

《事業目的（趣旨）》

- 人口減少が著しい但馬地域において、地元産業界からニーズのある観光分野等における専門人材を育成する高等教育機関として専門職大学を誘致し、地域の若者の定住のみならず、全国や海外から若者を呼び込み定着を図る。

1 事業内容

- (1) 大学用地の取得（※ 土地取得費は H31 繰越明許費）
- (2) 兵庫県における専門職大学設置に向けた検討支援
- (3) 臨地実習受入先の調整等
- (4) 兵庫県との共催によるプレ事業の開催

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,692 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

戦略・手段	A 03-03	国内外から優れた人が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.52 事業名	アーティスト・クリエイター移住等促進	31年度 予算額	22,805 千円	拡大	

《目指す将来像（姿）》

- センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

- アーティスト・クリエイターの移住等により、
 1. 多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり
 2. 優れた文化芸術を創造し、人々が楽しむまちづくり
 3. センスのいいまちづくり
 を促し、「小さな世界都市ーLocal & Grobal Cityー」の実現に資する。

1 事業内容

豊岡へ移転表明された劇団「青年団」及び劇団員の移転・移住を支援する。

(1) 劇団の拠点施設整備に係る支援【新規】

日高町の商店街組織と青年団の運営会社である（有）アゴラ企画が、国の補助制度を活用して拠点施設の整備を予定しており、国の補助が採択された場合、県とともに市も随伴して補助する。

＜江原河畔劇場（仮称）の整備＞

ア 建物改修事業費 165,000 千円（税込み）

イ 負担割合 中小企業庁 100,000 千円、県（但馬県民局）20,000 千円、豊岡市 20,000 千円、（有）アゴラ企画 25,000 千円

※（有）アゴラ企画は、設計・施工監理費、整備工事費の一部を負担する。

(2) 劇団員の移住支援

劇団員が、豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報を提供及び相談を受ける機会を設ける。

2 事業期間

2016（平成 28）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

22,805 千円

（内訳）

- ・劇団の拠点施設整備に係る補助金 20,000 千円
- ・劇団員の移住支援 307 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）
- ・事務的経費 2,498 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

主要手段 A03

豊岡で人々が世界と出会っている（ローカル&グローバル）

具体的 手 段	A 03-04	世界の人々と対等に向き合う人 材が増えている	31 年度 予算額	— 千円
------------	------------	---------------------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
重複	(No.43) 観光地マーケティング (観光客のデータ収集、分析、専門的人材配置 ほか)	(25,036 千円)	継続
合計		—	

※重複の予算額は除く

具体的 手 段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知 っている	31 年度 予算額	15,733 千円
------------	------------	-------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
53	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	400 千円	継続
54	ふるさと教育推進	3,868 千円	継続
55	子どもの野生復帰	10,000 千円	継続
56	高校生 U ターン意識向上戦略	1,465 千円	継続
合計		15,733 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
No.53	事業名	おっとりっしゃ！とよおかの ものづくり
		31 年度 予算額
		400 千円
		継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元に誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、同行の保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となり得ることに対する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について一部補助を行う。主な事業は以下の通り。

- (1) 子ども向けのものづくり体験教室
- (2) 市内企業の製品・技術の紹介を行う企業展示
- (3) ものづくりへの興味を持つような特別展示等を含むイベントの開催

2 事業期間

2014（平成 26）年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
400 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2313）

戦略・手段	A-04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.54	事業名 ふるさと教育推進	31 年度 予算額	3,868 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。
- (3) 但東中学 3 年生が、修学旅行で東京にある豊岡市アンテナショップ「コウノトリの恵み豊岡」内で市の特産品を販売し、ふるさと豊岡を PR する。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

3,868 千円



但東中学 3 年生による「MISSION IN TOKYO」

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.55	事業名	子どもの野生復帰	31 年度 予算額	10,000 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 自然体験によって醸成される心身の鍛錬・躍動、磨かれる感性、地域への愛着、共生の精神をより深め、地域の自然・文化・伝統を学ぶ、豊岡のフィールドでの野外体験プログラムを実施し、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。

1 事業内容

「キッズワイルド 2019」を実施する。

(1) 実施プログラム内容

- ア 周年型体験プログラム／四季型の通年体験
- イ 単発型体験プログラム／短期集中型の体験
- ウ 成人対象体験プログラム／指導者養成のための体験・学習活動

(2) 対 象

市内の小学生、中学生、高校生、成人

(3) 実施期間

2019（平成 31）年 5 月
～2020（平成 32）年 3 月

2 事業期間

2019（平成 31）年度



3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,000 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.56	事業名	高校生 U ターン意識向上戦略	31 年度 予算額	1,465 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の暮らしの魅力や価値、やりがいのある仕事を見せることで、将来、U ターンしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡を知ること、豊岡を好きになり、将来的な U ターンへの意識を向上させる。市内の各高校で、「豊岡」についての探究授業やキャリア教育を行う。

1 事業内容

- (1) 豊岡高校：探究授業「未来からの挑戦状」の実施
T-Discovery Tour や未来からの挑戦状など、探究授業のサポートを実施。
- (2) 近畿大学附属豊岡高校：ダンスを通じたまちの探究授業の実施
“まち”を知る探究授業「豊岡学」として、コウノトリや永楽館など、まちにある資源をリサーチして、ダンスを創作する授業を（一社）Danstork の協力で実施。
- (3) 豊岡総合高校：おしごとカフェの開催
高校生の希望する職業を知るブース展示やトークショーを実施。
- (4) 出石高校：企業見学ツアーの実施
市内企業の魅力を知る企業見学バスツアーを実施。
- (5) その他：市長による講話や外部講師によるキャリア教育授業を実施

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
1,465 千円



地域の資源をリサーチして創作ダンスとして発表

担当課名【環境経済課】（内線 2313）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手 段	A 04-02	子どもたちが様々なコミュニティ の中で役割を果たしている	31 年度 予算額	— 千円
------------	------------	---------------------------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
重複	(No.54) ふるさと教育推進	(3,868 千円)	継続
合 計		—	

※重複の予算額は除く

具体的 手 段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	31 年度 予算額	49,635 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・拡大・継続）
57	コミュニケーション教育推進	1,142 千円	継続
58	英語教育推進	33,748 千円	継続
59	英語遊び保育推進	12,145 千円	継続
60	豊岡の未来を創る高校生支援	2,600 千円	継続
合計		49,635 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.57	事業名	コミュニケーション教育推進	31 年度 予算額	1,142 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって外国人等様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・I ターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校 6 年生と中学校 1 年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組を行う。
- (2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

2015（平成 27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,142 千円



担当課名【こども教育課】（内線 2721）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.58	事業名	英語教育推進	31 年度 予算額	33,748 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校 1 年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと 9 年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語る力を高める。

1 事業内容

- (1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
- (2) 新学習指導要領完全実施（小学校：2020（平成 32）年度、中学校：2021（平成 33）年度）に向け、豊岡市英語教育推進委員会を中心に豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
- (3) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会を実施する。
 - ア 「英語教育推進リーダー中央研修」に係る地区別研修
 - イ 大学と連携した英語指導力向上事業
 - ウ 豊岡市英語教育研修会

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

- (4) すべての小学校に配置している外国語指導助手（ALT）とのティーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。
- (5) 英語遊びサマースクール（対象：小学1年生）、イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学3年生）を実施する。

2 事業期間

2015（平成27）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

33,748 千円



担当課名【こども教育課】（内線 2721）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.59	事業名 英語遊び保育推進	31年度 予算額	12,145 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている。
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている。
- 自己肯定感を持てる子が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア 訪問対象 市内全幼稚園・保育園・認定こども園の4・5歳児クラス
（但し、既に取り組まれているなどの一部の園を除く。）

イ 実施回数 年間15回程度
（2週間に1回程度）

ウ 時 間 5歳児・40分、4歳児・30分

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

エ 指導者 英語遊び指導員 8 名（予定）

- (2) 英語遊び研修会の実施
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
- (3) 英語遊び通信の発行
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。



英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

2 事業期間

2015（平成 27）～2016（28）年度 6 モデルでの先行実施
2017（平成 29）年度～ 市内の公・私立園で実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

12,145 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる			
No.60	事業名	豊岡の未来を創る高校生支援	31 年度 予算額	2,600 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 3 週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

1 事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」の取

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

組み（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル教育に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダ・ビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,600 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2 以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

具体的 手 段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼 が世界に羽ばたいている	31 年度 予算額	7,207 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
61	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催	7,207 千円	継続
合計		7,207 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている			
No.61	事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催	31 年度 予算額	7,207 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちを育てる。

1 事業内容

(1) 第6回おんぷの祭典

6月4日（火）～6月9日（日）の6日間開催。出演者は、アンサンブル・ウィーン東京（4名）、シュバシコウ・カルテット（弦楽四重奏）、こうのとり・クインテット（木管五重奏）ほか。

ア 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ）

イ 学校訪問コンサート 10 小学校

（日高・寺坂・三江・田鶴野・資母・高橋・静修・竹野・竹野南・港東）

ウ 街角コンサート 5ヶ所

（大人も楽しめる子どもたちのためのコンサート2ヶ所を含む）

エ 稽古堂イブニングコンサート（5日間連続、演奏者は日替わり、有料）

オ サロンコンサート（有料）

カ グランドフェスティバル 一日中、音楽に親しむ3部構成のコンサート
（キッズコンサート、プレミアムコンサート、ファイナルコンサート）

(2) おんぷの祭典プレコンサート

市内で活動する音楽家に発表のできる機会を提供。出演者は公募。5月26日

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

（日）豊岡稽古堂市民ギャラリーで開催。

2 事業期間

2014（平成 26）年度～2023（平成 35）年度

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

7,207 千円



担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

結婚支援・多子出産応援に係る戦略

【戦略目的B】

多くの子どもでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている

○ 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 結婚に至るまでの独身者に対する支援を行うとともに、様々な出会いの場や若者が集う場を提供することによって、結婚に結び付ける。
- (2) 安心して妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠から産後・育児を支え、仕事と子育てを両立できる環境を整え、理想の子どもの数を持ちたいという希望をかなえる。

次ページ以降、「戦略目的B」の戦略体系に基づく平成31年度地方創生取組みを掲載

具体的 手 段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している	31 年度 予算額	10,655 千円
------------	------------	--------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
1	婚活応援プロジェクト「はーとピー」	9,266 千円	拡大
2	民間団体への婚活・恋活イベント開催補助	600 千円	継続
3	社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	789 千円	継続
4	出会いサポート企業推進	- 千円	継続
合計		10,655 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している
No.1 事業名	婚活応援プロジェクト「はーとピー」	31 年度 予算額 9,266 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（市による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を開催し、結婚を促進する。

1 事業内容

市の補助により 2013（平成 25）年度から社会福祉協議会で実施していた婚活応援プロジェクト「はーとピー」を、平成 31 年度から市主催により実施する。

また、2019（平成 31）年度から市に専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行うことにより、成婚数の増加を図る。

＜結婚支援員が行うアフターフォロー＞

- (1) イベントカップルの交際フォロー、相談業務
- (2) 参加者の蓄積データを基にした個別マッチングの実施【新規】
- (3) 「縁むすびさん」と連携したお見合い

主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

※2018（平成 30）年度の実績（1 月 31 日現在）
9 回開催、参加者 596 人、カップル成立数 74 組

2 事業期間

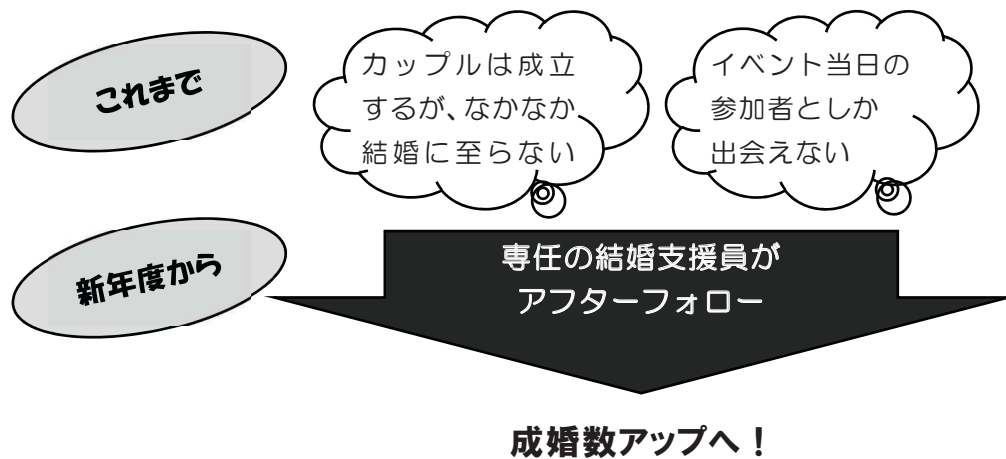
2013（平成 25）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

9,266 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

戦略・手段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している			
No.2	事業名	民間団体への婚活・恋活イベント開催補助	31 年度 予算額	600 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（民間団体による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 民間団体が主催する婚活・恋活イベントへの補助制度によってイベント開催を促進し、独身男女の多様な出会い機会を創出する。

1 事業内容

2016（平成 28）年度に制定した「出会い機会創出事業補助金」により、民間団体主催の婚活イベントに補助し、民間活力による出会い機会の創出を促進する。

主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

- (1) 対象者 市内の団体、実行委員会等
- (2) 対象経費 開催に必要な経費（飲食費、人件費等を除く）
- (3) 補助率 10/10
- (4) 上限額 100 千円

※2018（平成 30）年度の実績（1 月 31 日現在）

5 件実施、延べ参加者数 113 名、成立カップル数 26 組

※2016（平成 28）年度からの累計

17 件実施、延べ参加者数 415 名、成立カップル数 86 組

2 事業期間

2016（平成 28）年度～

3 事業主体

婚活・恋活イベントを実施する団体

4 予算額（補助率・負担率等）

600 千円

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



但馬国出石観光協会が実施した婚活イベントのチラシ (H30)

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

戦略・手段		B 01-01 多種多様な出会いの機会が充実している			
No.3	事業名	社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	31 年度 予算額	789 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（公的団体（社会福祉協議会）による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 社会福祉協議会が実施する結婚相談所（Hapimari）事業費の一部に補助し、活動を活性化することにより結婚を促進する。

1 事業内容

社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員のモチベーション維持と向上を図るため、2017（平成 29）年度から行っている成婚報奨金の経費を補助する。

また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。

- (1) 成婚報奨金（成婚 1 組 3 万円）
- (2) 研修費（先進地視察研修等）

主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

2 事業期間

2016（平成 28）年度～

※2019（平成 31）年 1 月時点登録者数：244 人（男性 177 人、女性 67 人）

3 事業主体

豊岡市社会福祉協議会

4 予算額（補助率・負担率等）

789 千円

（ひょうご地域創生交付金

補助率：交付対象額の 1/2）



社会福祉協議会 結婚相談所（Hapimari）HP

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

戦略・手段	B 01-01	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.4 事業名	出会いサポート企業推進	31 年度 予算額	－ 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（企業、団体による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 職場の垣根を越えた出会いの機会を生み出してカップルを増やし、成婚数を増加させる。

1 事業内容

職場の「世話やき BOSS」同士のメーリングリストにより相互に呼びかけて、職場の垣根を越えたコンパ（オフコン）を実施する。

2 事業期間

2018（平成 30）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

0 千円（コピー代程度）

豊岡市オリジナル！

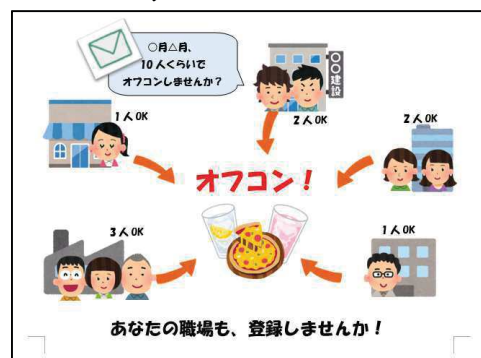
オフコンって？

仕事の**オフ**の時間に、**オフィス**の枠を超えて企画する**コンパ**のこと。
職場単位で市に申し込み、職場の「世話やき BOSS」がお世話をします！

オフコンの仕組み

- ①「世話やき BOSS」の誰かがメーリングリストで**オフコン開催を呼びかける**
- ②そのほかの職場の「世話やき BOSS」は独身社員に声をかけて、**参加者を募る**
- ③詳細を決めて、**オフコン開催へ！**

現在、30 社（団体）が登録。
H30 は2回開催しました！



担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

具体的 手 段	B 01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	31 年度 予算額	1,349 千円
------------	------------	--------------------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
5	ボランティア仲人養成	1,349 千円	継続
重複	(No.3) 社会福祉協議会の結婚相談所機能拡充	(789 千円)	継続
合計		1,349 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 01-02	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している			
No.5	事業名	ボランティア仲人養成	31 年度 予算額	1,349 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
(市民による世話やきの充実)

《事業目的（趣旨）》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。

(1) 「縁むすびさん」登録後の活動の流れ



(2) 「縁むすびさん」への主な支援

- ア 登録時に「登録セミナー」を開催
- イ 研修と情報交換を行う「縁結び会議」を毎月開催
- ウ 会報「縁結だより」の発行による啓発
- エ 報奨金の支給（成婚1組につき3万円）



主要手段 B01 若い夫婦の数が増えている

※事業開始の 2017（平成 29）年 7 月から平成 31 年 1 月 31 日までの実績

- ・縁むすびさん 144 人（男性 45 人、女性 99 人）
- ・登録結婚希望者 129 人（男性 81 人、女性 48 人）
- ・引き合わせ数 延べ 115 回

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

1,349 千円



月に一度の「縁結び会議」

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

具体的 手 段	B 01-03	若者が集い、交流する場が増えている	31 年度 予算額	72 千円
------------	------------	-------------------	--------------	-------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
6	SNS を活用した出会いにつながる情報発信	72 千円	継続
合計		72 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 01-03	若者が集い、交流する場が増えている
No.6 事業名	SNS を活用した出会いにつながる情報発信	31 年度 予算額
		72 千円
		継続

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のあちこちに若者が集まる交流が生まれ、出会いが生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者たちが出かけて交流できる情報を SNS (Social Networking Service) で配信し、出会いのきっかけにつなげる。

1 事業内容

市内にある既存のスポットや事業を「出会いにつながる情報」として動画や画像で撮影し、SNS のインスタグラムにより「ツッカケ豊岡」の名称で配信する。

2019（平成 31）年度からは、豊岡で暮らす若者が情報発信を担う。

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

72 千円

（ひょうご地域創生交付金補助率：交付対象額の 1/2）

SNS「ツツカケ」とは？

「“around25 歳”に向けたアフター5 や休日の楽しみ方」をコンセプトに、若者が交流する様子を動画や画像で配信する。

現在、パブリックビューイング、スポーツ施設、神鍋アクティビティ、映画館などを配信中。仕事帰りや休日に、気軽に出かけて交流してもらおうことを狙う。

【2019（平成 31）年 1 月 31 日現在】登録者（フォロワー）数 1,051 人
最大リーチ数 3,982 人



担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

具体的 手 段	B 02-01	出産への応援がある	31 年度 予算額	21,774 千円
------------	------------	-----------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
7	子育て世代包括支援センター	974 千円	継続
8	産前・産後サポート事業	1,932 千円	継続
9	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	2,668 千円	継続
10	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	16,200 千円	継続
合計		21,774 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B-02-01	出産への応援がある			
No.7	事業名	子育て世代包括支援センター	31 年度 予算額	974 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 出産・子育てに関する不安、リスクを抱える子育て世代が増加しており、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を整える必要がある。このため、「子育て世代包括支援センター」による相談体制の強化とサービス導入による支援施策の充実を図る。

1 事業内容

保健師等の専門職により、すべての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを作成し、サービスの提供や育児不安の解消などきめ細かい支援を実施する。

2 事業期間

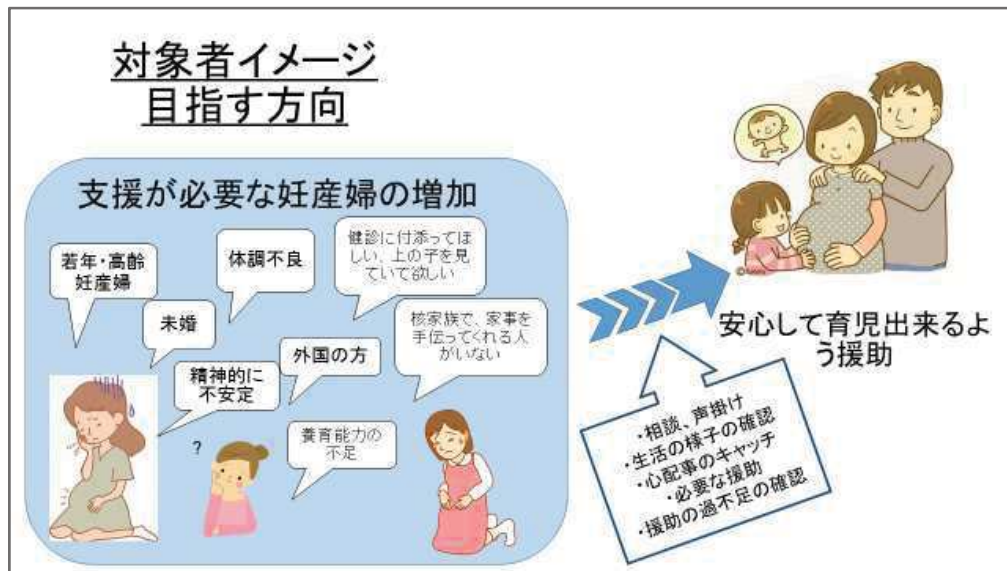
2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

974 千円 (子ども・子育て支援交付金)
 (国補助率：交付対象額の 1/3)
 (県補助率：交付対象額の 1/3)



担当課名【健康増進課】(内線 3101)

戦略・手段	B-02-01	出産への応援がある			
No.8 事業名	産前・産後サポート事業	31 年度 予算額	1,932 千円	継続	

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 出産・子育てに関する悩み等に対して、保健師等の専門職が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行う。また、サポーター（ヘルパー）が家事・育児援助等を実施することにより精神及び身体の負担の軽減を図る。

あわせて地域の母親同士の仲間づくりを促し、妊産婦が家庭や地域での孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

- (1) 保健師等の専門職が妊産婦の居宅を訪問し、育児手技の確認および支援、不安や悩みに対しての相談を受ける。
- (2) サポーター（ヘルパー）が家事・育児援助等を実施する。
- (3) 妊産婦同士の仲間づくりを目的として、複数の妊婦や親子が参加する教室で相談やグループワークを実施する。

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市



（マタニティーママ＆ベビー交流会の様子）

4 予算額

1,932 千円

（母子保健衛生費国庫補助金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B-02-01	出産への応援がある		
No.9 事業名	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	31 年度 予算額	2,668 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 父母、配偶者、パートナー等から十分な産後の育児支援が受けられない者の心身の安定を図るために、育児不安を解消し、産後も安心して子育てが出来る環境を整備し、安心して産後を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

助産師等の専門職が母親の身体的な回復のための支援、授乳の指導及び乳房のケア、母親の不安の相談、新生児及び乳児の状況に応じた具体的な育児指導を行い不安や悩みの軽減を図る。

- (1) 宿泊型委託先 公立豊岡病院、公立八鹿病院
- (2) 訪問型委託先 在宅助産師

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

2,668 千円（母子保健衛生費国庫補助金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B02-01	出産への応援がある			
No.10	事業名	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	31年度 予算額	16,200 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 出産を支える仕組みが整うことにより、出生数が増加し、夫婦一組あたりの子どもの数が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 「特定不妊治療費助成事業」及び「不育症治療費助成事業」を実施し、子どもを産みやすい環境を整備し、人口減少対策につなげる。

1 事業内容

(1) 特定不妊治療費助成事業

県の助成制度に市独自の助成金を上乗せする。助成回数、助成可能年齢は県の制度に準じ、上限額 1 回あたり 20 万円を助成する。

(2) 不育症治療費助成事業

不育症の検査や治療にかかる医療費に対する助成を行う。

2 事業期間

2016（平成 28）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

16,200 千円（不育症治療費助成事業費助成金 補助率：補助対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的 手 段	B 02-02	育児への応援がある	31 年度 予算額	1,410 千円
------------	------------	-----------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
11	ファミリーサポートセンター	1,410 千円	継続
重複	(No.7)子育て世代包括支援センター	(974 千円)	継続
合計		1,410 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-02	育児への応援がある		
No.11	事業名	ファミリーサポートセンター	31 年度 予算額	1,410 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等で事業のPRを行うとともに、更なる会員獲得のため2019（平成31）年度は交流事業を拡大する。



会員交流事業の様子

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

3 事業主体

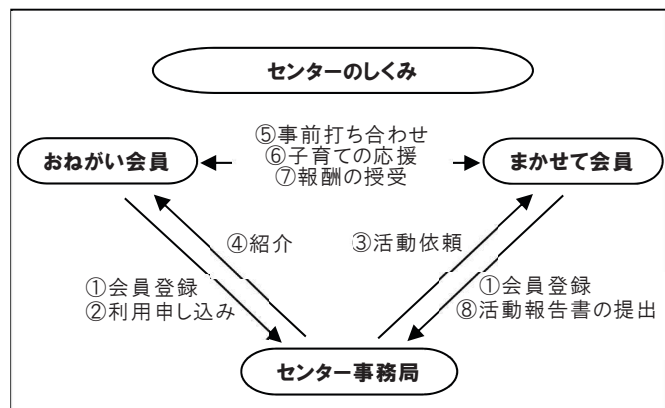
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,410 千円

（国補助率 基準額の 1/3）

（県補助率 基準額の 1/3）



（参考）

・会員数：158 人（2019（平成 31）年 1 月 31 日現在）

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手 段	B 02-03	仕事の両立への応援がある	31 年度 予算額	— 千円
------------	------------	--------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
重複	(No.11) ファミリーサポートセンター	(1,410 千円)	継続
合計		—	

※重複は合計から除く

具体的 手 段	B 02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある	31 年度 予算額	13,350 千円
------------	------------	--------------------	--------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
12	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか	13,350 千円	継続
合計		13,350 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある
No.12 事業名	子育てセンターの交流事業 「パパとあそぼうデー」ほか	31 年度 予算額
		13,350 千円
		継続

《目指す将来像（姿）》

- 夫婦が子育てを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 子育てセンターで子育てに関する相談支援や親子が交流できる機会の提供などを行い、子育てにかかる不安感、負担感を軽減し、子育て家庭が子育ての楽しさを実感できるようにする。

1 事業内容

- (1) 子育てセンターで、親子の交流のほか、親子で遊べる場の常設、相談支援、情報提供、学習機会(子育て講座等)の提供など子育てに関する様々な事業を行う。
- (2) 交流事業では、父親と子どものふれあいの機会を提供するため「パパとあそぼうデー」など、父親が参加しやすい事業を実施する。

2 事業期間

2005（平成 17）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,350 千円

（国補助率 基準額の 1/3）

（県補助率 基準額の 1/3）



パパとあそぼうデーの様子

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

具体的 手 段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある	31 年度 予算額	1,632 千円
------------	------------	------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
13	子育て広場整備	279 千円	継続
14	F M ジャングル夢チャレンジ	818 千円	継続
15	子育てママの活躍機会促進事業	535 千円	拡大
合計		1,632 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.13	事業名	子育て広場整備事業	31 年度 予算額	279 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子どもも安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育て世代を身近に感じることで、市民の応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

1 事業内容

～「子育て広場」をまちの子育て応援の象徴へ～

よちよち歩きの子どもが遊びまわる！ ママもくつろいでホッとひと息。

その様子に、まちの人も目を細めて一緒に憩う…。

子育ての楽しさを実感する子育て世代と、その様子を温かいまなざしで見守るまちの人々が行き交う、そんな広場を目指します。

各地域の「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、豊岡地域を除く 5 か所の子育て広場の除草、施肥等の維持管理を行う。

また、「子育て女性活動団体へのイベント開催経費補助事業（No. 15 参照）」の開催指定場所にするなど、子育て世代の活用を促進する。

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

2 事業期間

2017（平成 29）年度～

※ハード整備は 2017（平成）年度
～2018（平成 30）年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

279 千円

（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



子育て広場案内冊子の表紙

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3511）

戦略・手段	B02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある			
No.14	事業名	FM ジャングル夢チャレンジ	31 年度 予算額	818 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが夢を持ち、夢の実現に挑戦している。

《事業目的（趣旨）》

- 児童・生徒が夢や頑張っていることを広く市民に発信することで、自尊感情が高められるとともに、応援されることで自己肯定感が育まれる。

1 事業内容

- (1) なりたい自分になるため（「夢実現力」）に頑張っている子どもの様子を FM ジャングルの市政情報提供番組で取材し、放送（15 分番組：本放送毎週 1 回・再放送毎週 2 回）を行う。

2 事業期間

2008（平成 20）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

818 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No. 15	子育てママの活躍機会促進	31 年度 予算額	535 千円	拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをポジティブにとらえる人が増え、希望どおりの人数の子どもを持つ家庭が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て中のママの「役割」や「活躍の場」を開拓するとともに、いきいきと活動する様子が市民の目に触れるようにすることにより、子育てをポジティブにとらえる意識を醸成する。

1 事業内容

(1) 「ママハタ」の派遣の場を創出

「NPO 法人ママの働き方応援隊(通称：ママハタ)」の但馬の活動拠点である「但馬校」、サテライトの「豊岡奈佐学級」と連携して、学校や地区で「赤ちゃん先生クラス」を開催する。

また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして派遣する。

(2) 子育て女性活動団体へイベントの開催経費を補助【新規】

子育て中の女性で構成する活動団体が、子育て世代ならだれでも参加できるイベントを開催する際、その経費の一部を補助する。

補助の条件として「子育て広場」を活用するなど、イベント開催により「まちを挙げた子育て応援の機運を高める」ことにつなげる。

ア 補助上限 1 件につき 50 千円

イ 補助率 10/10

2 事業期間

(1) 「ママハタ」の派遣 2018（平成 30）年度～

(2) イベント開催経費の補助 2019（平成 31）年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

535 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



「赤ちゃん先生クラス」の授業風景
(ママハタの派遣事業)



親子で賑わう子育て広場でのイベント
(「ハグハグフェスタ豊岡」)

＜参考＞

- ・ NPO 法人ママの働き方応援隊(2007 年設立、本部：神戸市)
「子育て中がメリットになる働き方を創る」をミッションに全国に活動を広める。但馬校は 2015 (平成 27) 年 12 月に養父市で開設。豊岡奈佐学級は 2017 (平成 29) 年 5 月に開設。
- ・ 赤ちゃん先生クラス
赤ちゃんを連れたママ講師が教育機関や高齢者施設などを訪問し、「学び」や「ふれあい」の授業を行う。ママ講師には謝礼が支給され、「仕事」として役割と責任を持つ。
- ・ 子育て広場
市内 6 か所(地域ごと)に整備した「小さな子どもが安心して遊べる芝生の広場」のこと。市役所本庁舎前の子育て広場では、子育て中の女性団体による手作りマーケットなどが開催されるなど、広場の活用が進んでいる。

担当課名【ハートリーフ戦略室】(内線 3511)